

# 「日高市学校跡地活用」に関わる 市民アンケート調査報告書

令和 5 年 3 月

日 高 市

# 〈目 次〉

<b>第1章 アンケート調査概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査目的.....	1
2. 調査概要.....	1
3. 集計、結果整理について.....	1
<b>第2章 アンケート調査結果</b> .....	<b>2</b>
1. 回答者の属性.....	2
(1) 年 齢.....	2
(2) 居住地.....	2
【高麗小学校跡地】.....	3
2. 高麗小学校跡地活用について.....	4
(1) 活用の方法について.....	4
(2) 期待される効果について.....	6
(3) 活用の際の留意点について.....	8
(4) 民間事業者の導入について.....	10
(5) 高麗小学校活用に対する意見等について.....	12
【高根中学校跡地】.....	13
3. 高根中学校跡地活用について.....	14
(1) 活用の方法について.....	14
(2) 期待される効果について.....	16
(3) 活用の際の留意点について.....	18
(4) 民間事業者の導入について.....	20
(5) 高根中学校活用に対する意見等について.....	22
【武蔵台中学校跡地】.....	23
4. 武蔵台中学校跡地活用について.....	24
(1) 活用の方法について.....	24
(2) 期待される効果について.....	26
(3) 活用の際の留意点について.....	28
(4) 民間事業者の導入について.....	30
(5) 武蔵台中学校活用に対する意見等について.....	32
<b>第3章 調査結果のまとめ</b> .....	<b>33</b>
1. 設問ごとの傾向のまとめ.....	33
(1) 活用方法について.....	33
(2) 期待される効果について.....	34
(3) 活用の際の留意点について.....	35
(4) 民間事業者の導入について.....	36
2. 学校ごとの跡地活用の考え方.....	37
(1) 高麗小学校跡地.....	37
(2) 高根中学校跡地.....	37
(3) 武蔵台中学校跡地.....	37

# 第1章 アンケート調査概要

## 1. 調査目的

令和5年度に武蔵台中学校、令和6年度に高根中学校、令和7年度に高麗小学校が空き施設となるため、当該3校の跡地活用に対する市民の意見や考えなどを調査して基礎資料とするアンケート調査を実施しました。

## 2. 調査概要

調査対象	無作為抽出による18歳以上の市民3,000人
調査期間	令和5年1月6日(金)～1月26日(木)
調査方法	無記名方式、郵送または電子申請での回答
有効回答数 (回答率)	1,153件(38.4%) [回答の内訳 郵送:887件、WEB回答:266件]

## 3. 集計、結果整理について

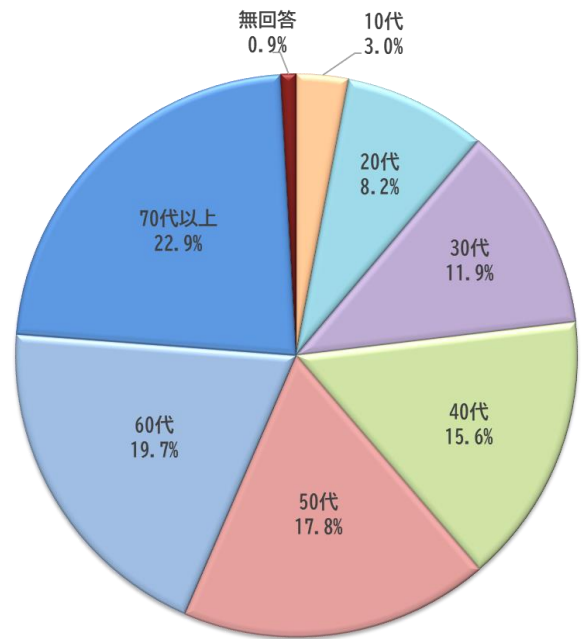
- ・ 1つの設問に対し複数の回答があった場合は無効扱いとし、「無回答」に集約しています。
- ・ グラフタイトルにある[SA]は単数回答(single answer)を意味しています。

## 第2章 アンケート調査結果

### 1. 回答者の属性

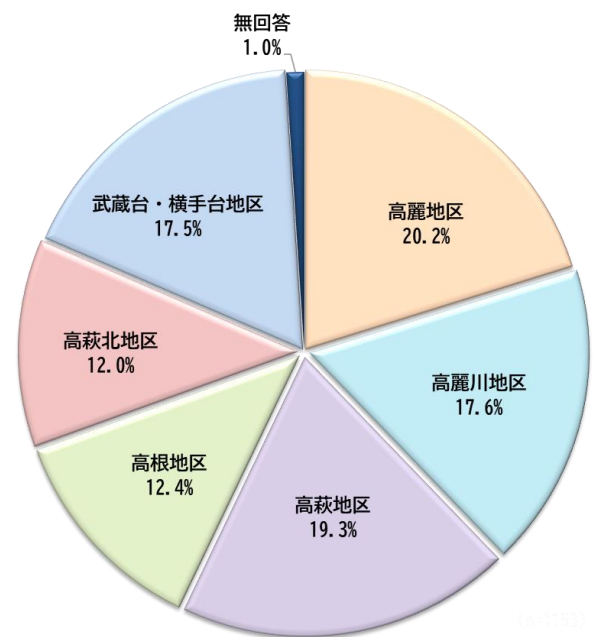
#### (1) 年齢

年代	回答数	比率
10代	35	3.0%
20代	95	8.2%
30代	137	11.9%
40代	180	15.6%
50代	205	17.8%
60代	227	19.7%
70代以上	264	22.9%
無回答	10	0.9%
合計	1,153	100.0%



#### (2) 居住地

地区	回答数	比率
高麗地区	233	20.2%
高麗川地区	203	17.6%
高萩地区	222	19.3%
高根地区	143	12.4%
高萩北地区	138	12.0%
武蔵台・横手台地区	202	17.5%
無回答	12	1.0%
合計	1,153	100.0%



- ・年代については、「70代以上（22.9%）」「60代（19.7%）」「50代（17.8%）」とあり、高い年代の回答の割合が多くなっています。
- ・居住地については、高麗地区（20.2%）の割合が最も大きく、以下、高萩地区（19.3%）、高麗川地区（17.6%）の順となっています。

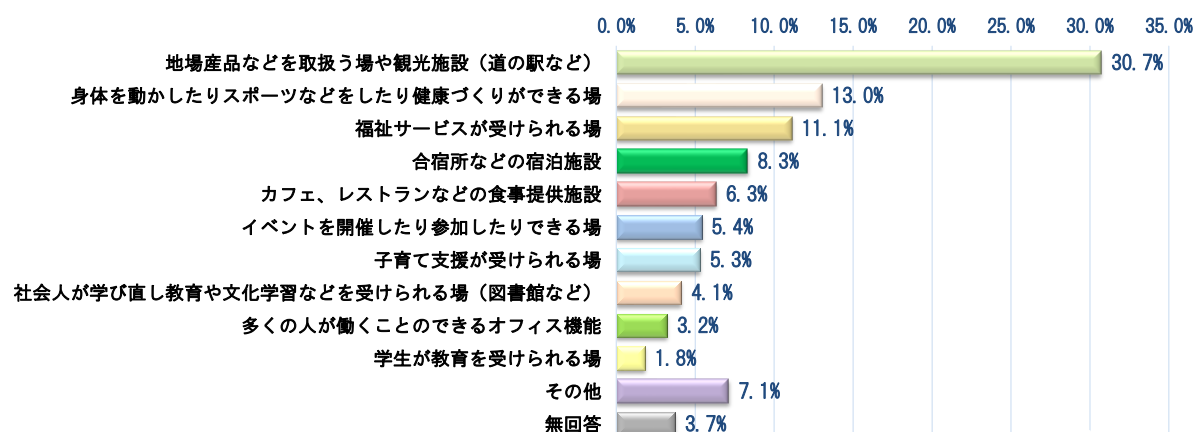
# 【高麗小学校跡地】

## 2. 高麗小学校跡地活用について

### (1)活用の方法について

【問3】高麗小学校について、どのような活用が望ましいと思いますか。  
(あてはまるもの1つに○)

活用の方法	回答数	比率
地場産品などを取扱う場や観光施設（道の駅など）	354	30.7%
身体を動かしたりスポーツなどをしたり健康づくりができる場	150	13.0%
福祉サービスが受けられる場	128	11.1%
合宿所などの宿泊施設	96	8.3%
カフェ、レストランなどの食事提供施設	73	6.3%
イベントを開催したり参加したりできる場	62	5.4%
子育て支援が受けられる場	61	5.3%
社会人が学び直し教育や文化学習などを受けられる場（図書館など）	47	4.1%
多くの人が働くことのできるオフィス機能	37	3.2%
学生が教育を受けられる場	21	1.8%
その他	82	7.1%
無回答	42	3.7%
合計	1,153	100.0%



### 【問3】高麗小学校の活用方法（SA）

#### ○その他の主な意見

宿泊施設/観光施設/キャンプ（オート）場/複合施設/民俗資料館/公民館/駐車場 など

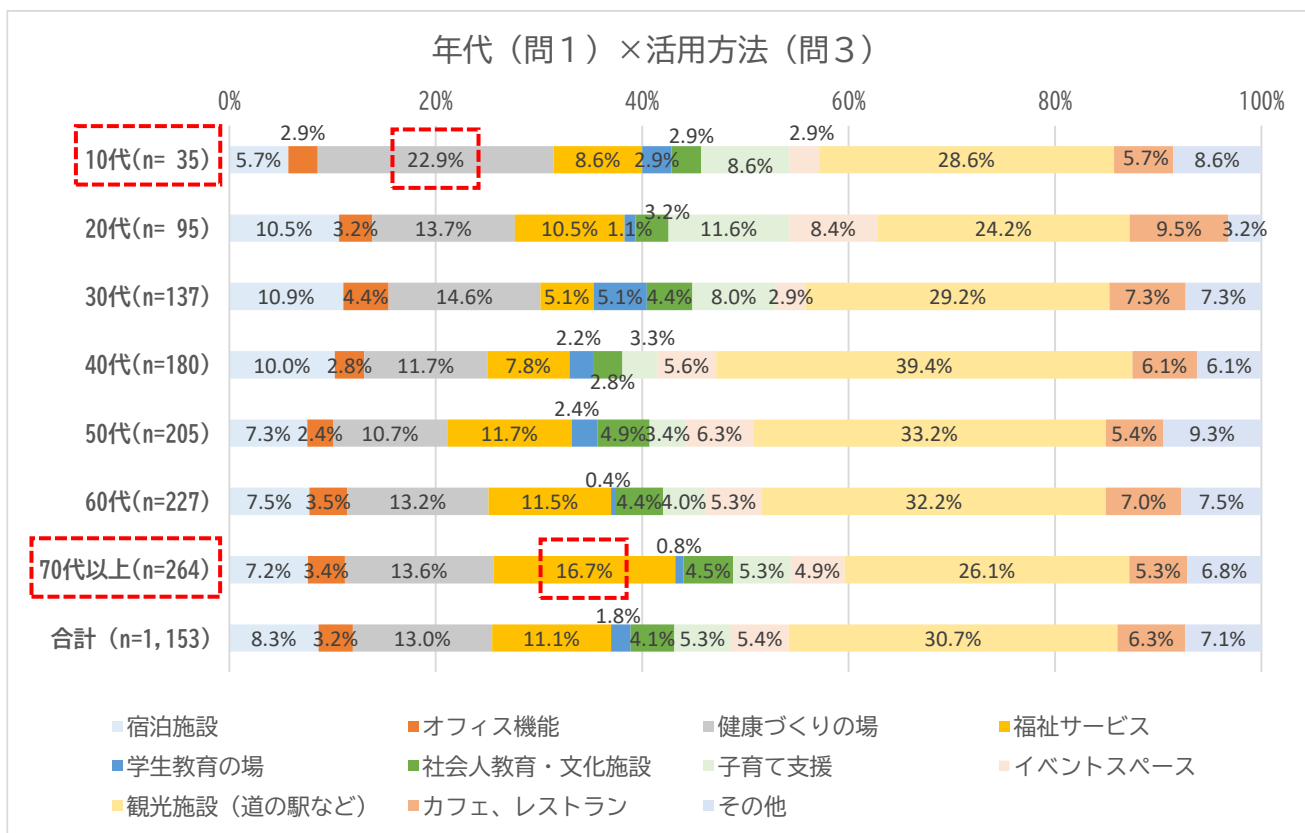
#### 〈回答の傾向〉

最も多いのは「地場産品などを取扱う場や観光施設（道の駅など）」であり、次いで「身体を動かしたりスポーツなどをしたり健康づくりができる場」、「福祉サービスが受けられる場」の順となっています。

【年代別の回答傾向】

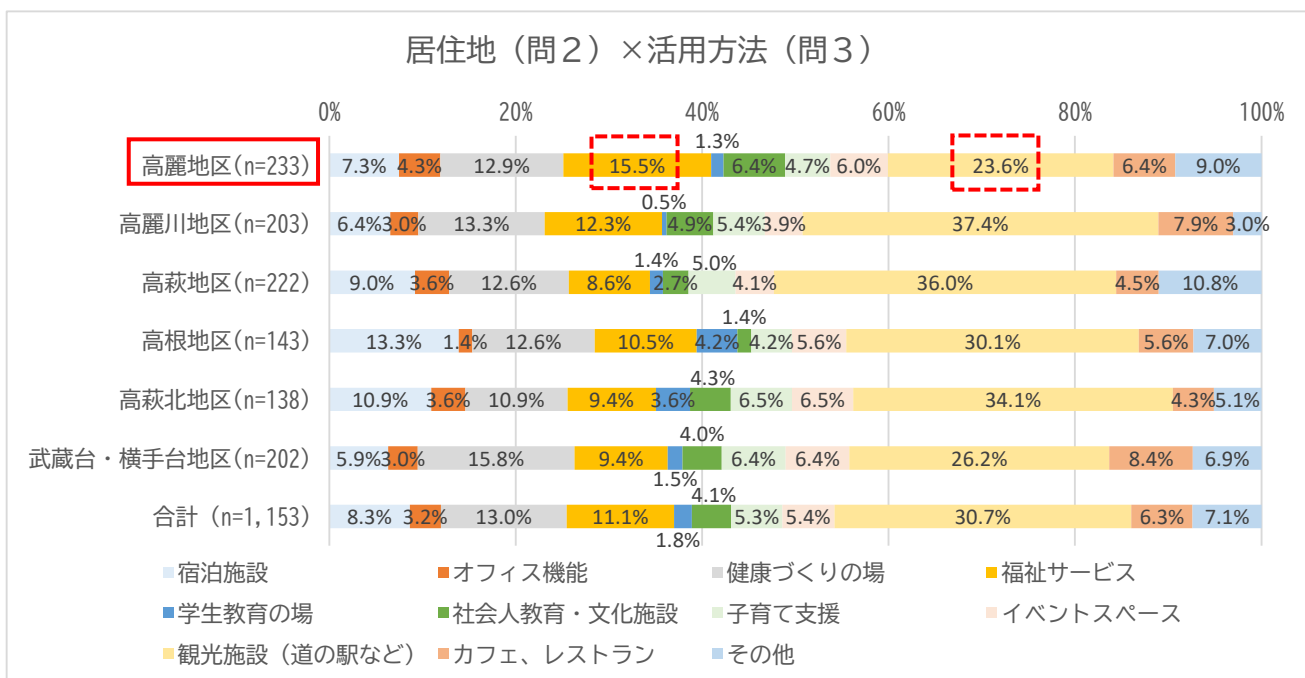
※選択肢を略称で表記しています

- ・すべての年代において「観光施設（道の駅など）」の割合が最も大きくなっています。
- ・10代では「健康づくりの場」、70代以上では「福祉サービス」の割合が他の年代よりも大きくなっています。



【居住地別の回答傾向】

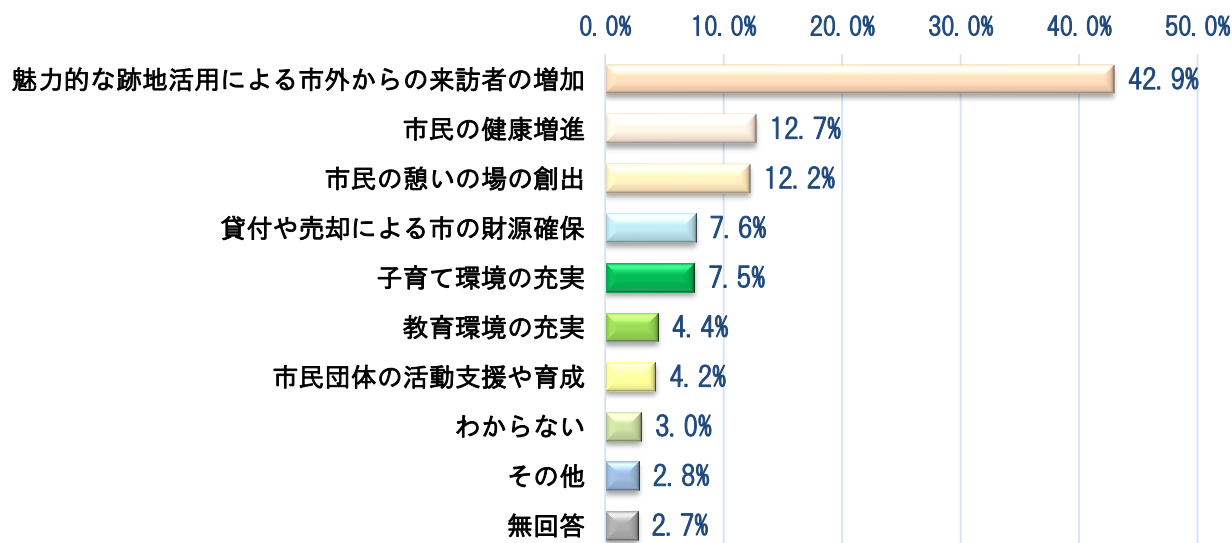
- ・高麗小学校が立地する高麗地区の傾向をみると、「観光施設」の割合が最も大きいものの他地区に比べて割合が低く、「福祉サービス」の割合が他地区と比較してやや大きくなっています。



(2)期待される効果について

【問4】高麗小学校の活用により、どのような効果を期待しますか。  
(あてはまるもの1つに○)

効果の期待	回答数	比率
魅力的な跡地活用による市外からの来訪者の増加	494	42.9%
市民の健康増進	146	12.7%
市民の憩いの場の創出	140	12.2%
貸付や売却による市の財源確保	88	7.6%
子育て環境の充実	87	7.5%
教育環境の充実	51	4.4%
市民団体の活動支援や育成	49	4.2%
わからない	35	3.0%
その他	32	2.8%
無回答	31	2.7%
合計	1,153	100.0%



【問4】活用による期待される効果 (SA)

○その他の主な意見

農業の育成/障がい者や高齢者がサービスを受けられること/市民の安全確保/老人ホームの順番まちのないように/少子・高齢化の為/施設を作る事には賛成できない など

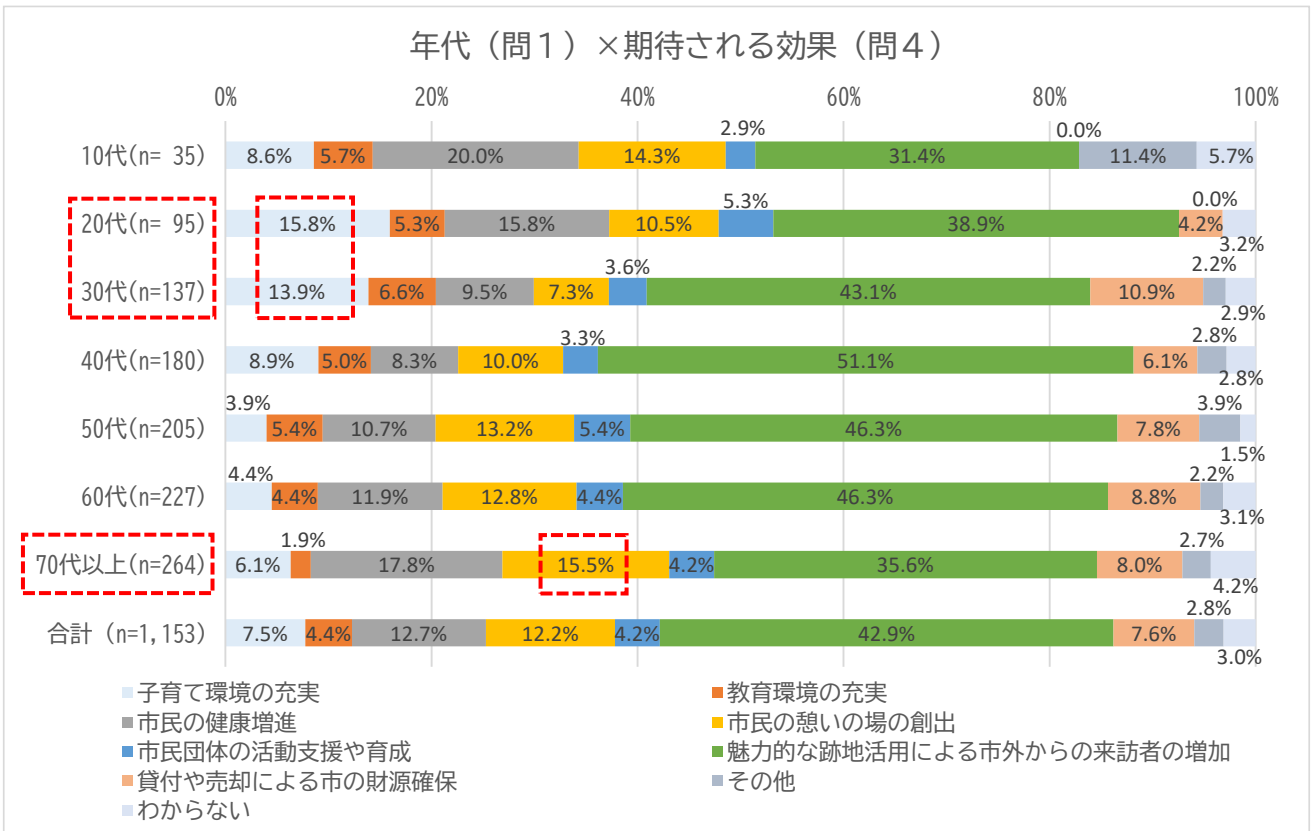
〈回答の傾向〉

最も多いのは「魅力的な跡地活用による市外からの来訪者の増加」であり、次いで「市民の健康増進」、「市民の憩いの場の創出」の順となっています。



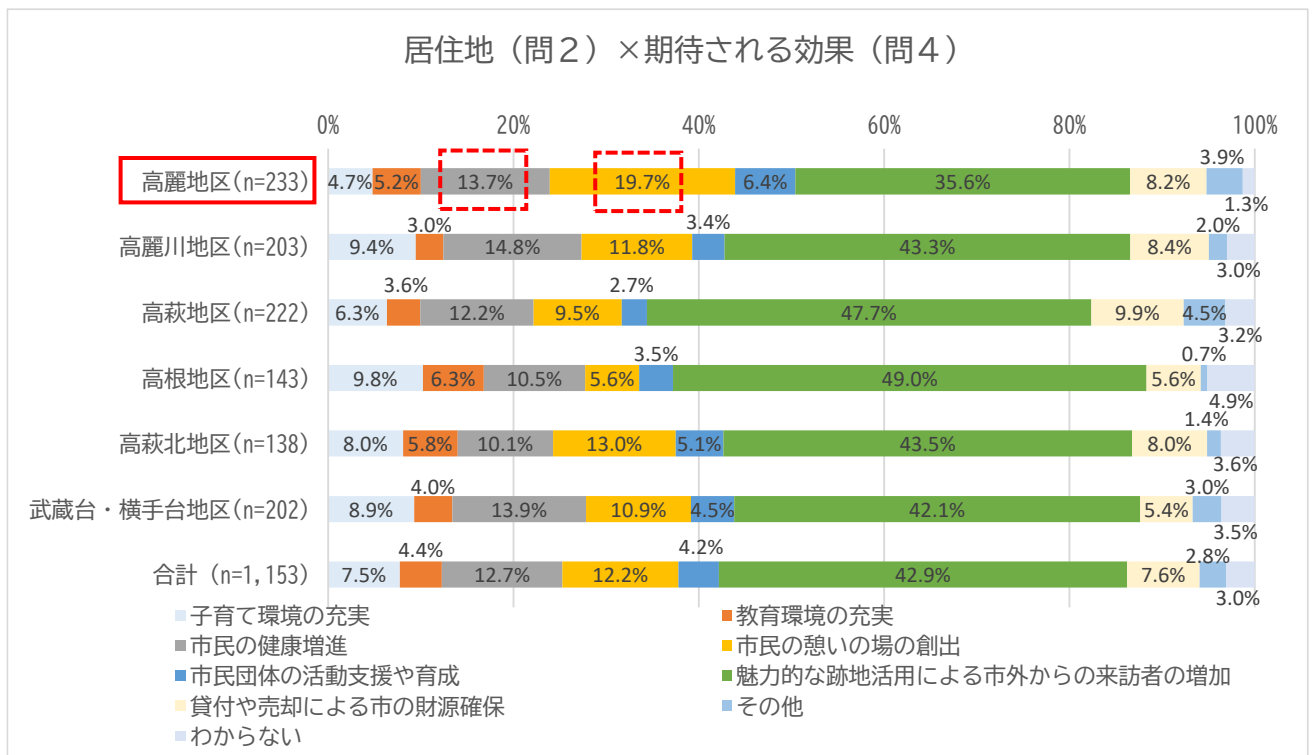
【年代別の回答傾向】

- ・すべての年代において「魅力的な跡地活用による市外からの来訪者の増加」の割合が最も大きくなっています。
- ・20代、30代では「子育て環境の充実」、10代では「市民の健康増進」、70代以上では「市民の憩いの場の創出」の割合が他の年代よりも大きくなっています。



【居住地別の回答傾向】

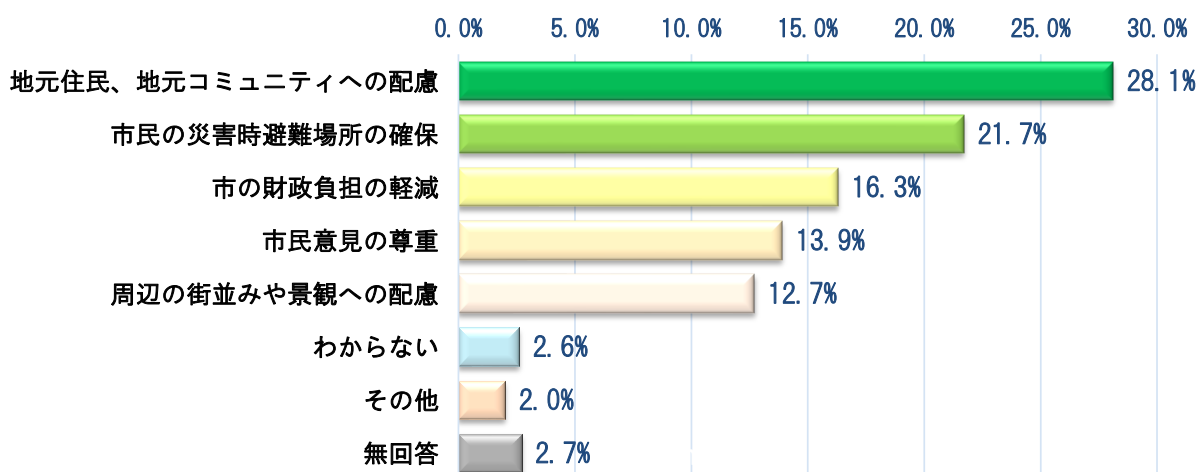
- ・高麗地区の傾向をみると、他地区同様「魅力的な跡地活用による市外からの来訪者の増加」の割合が最も大きくなっていますが、「市民の憩いの場の創出」、「市民の健康増進」の割合が他地区よりも大きくなっています。



(3)活用の際の留意点について

【問5】高麗小学校の活用の際、どのようなことに留意した方がよいと思いますか。  
(あてはまるもの1つに○)

活用の際の留意点	回答数	比率
地元住民、地元コミュニティへの配慮	324	28.1%
市民の災害時避難場所の確保	251	21.7%
市の財政負担の軽減	188	16.3%
市民意見の尊重	160	13.9%
周辺の街並みや景観への配慮	146	12.7%
わからない	30	2.6%
その他	23	2.0%
無回答	31	2.7%
合計	1,153	100.0%



【問5】活用の際の留意点 (SA)

○その他の主な意見

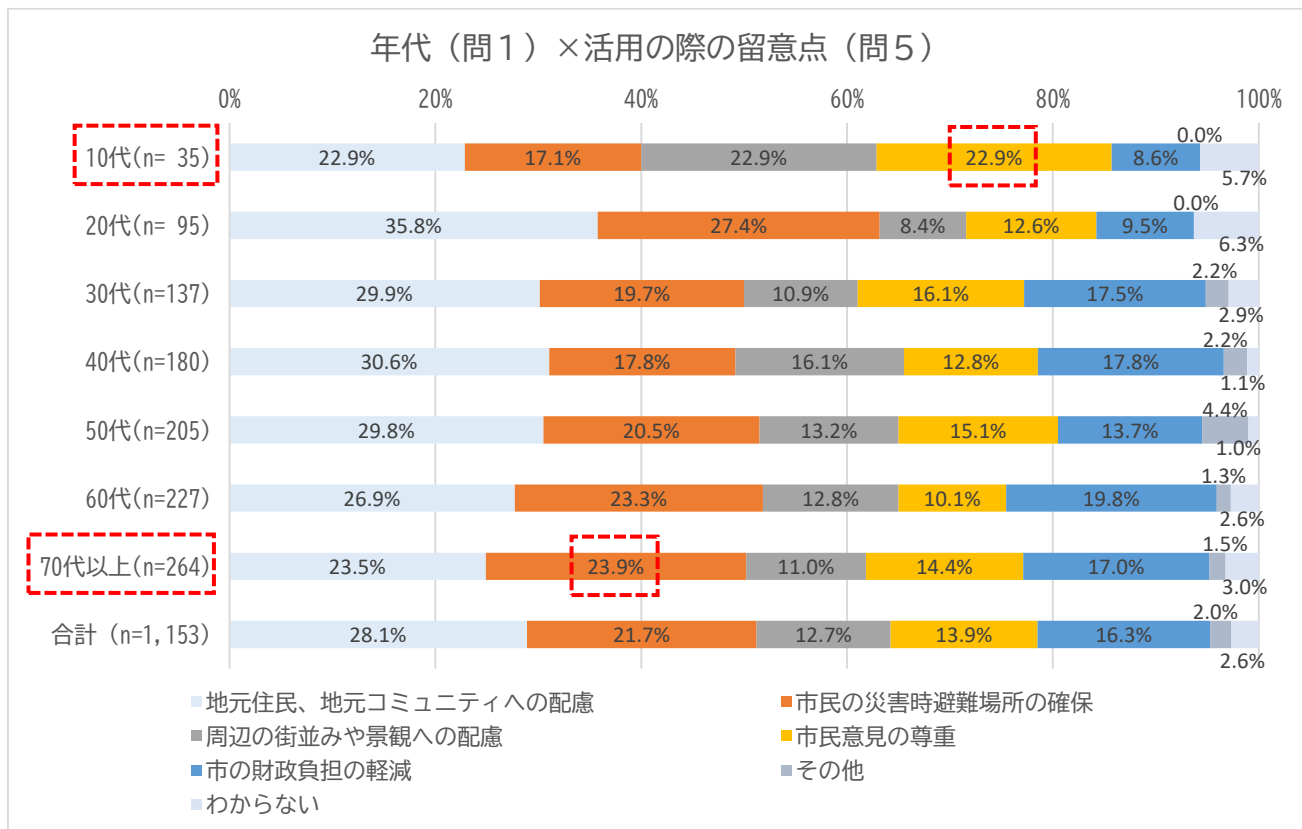
自然環境にもどす/市外の来訪者に喜ばれること/市の財政のプラスに成る様に/複合的施設にして多面的に対応できるようにする/周辺交通渋滞 など

〈回答の傾向〉

最も多いのは「地元住民、地元コミュニティへの配慮」であり、次いで「市民の災害避難場所の確保」、「市の財政負担の軽減」の順となっています。

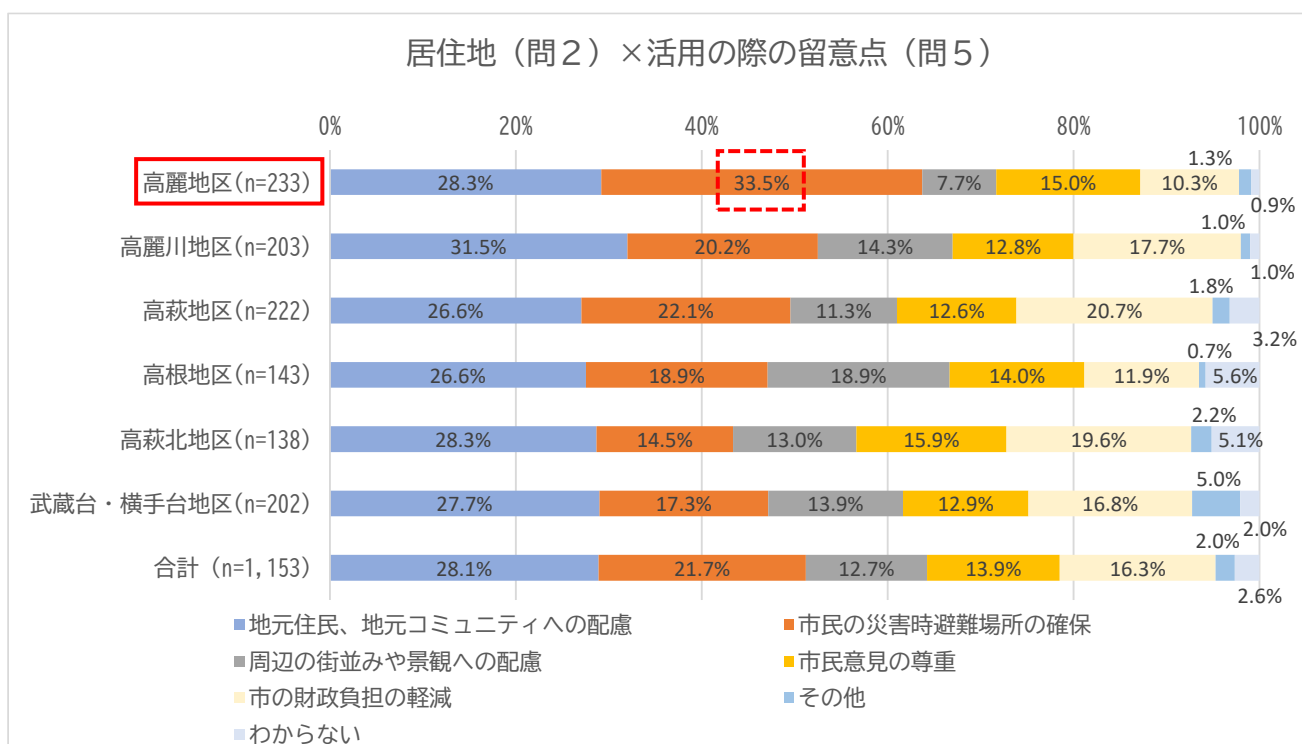
### 【年代別の回答傾向】

- ・すべての年代において「地元住民、地元コミュニティへの配慮」の割合が大きくなっています。
- ・10代では「市民の意見の尊重」の割合が各年代の中で最も大きくなっています。また、70代以上は「市民の災害避難場所の確保」の割合が「地元住民、地元コミュニティへの配慮」を上回っています。



### 【居住地別の回答傾向】

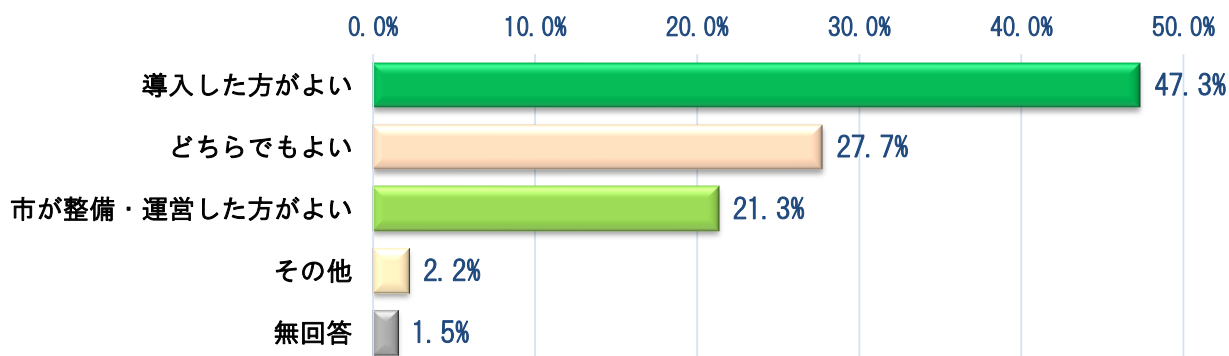
- ・高麗地区の傾向をみると、「市民の災害時避難場所の確保」の割合が最も大きくなっています。



(4)民間事業者の導入について

【問6】跡地活用の民間事業者の導入について、どのようにお考えですか。  
 (あてはまるもの1つに○)

民間事業者の導入について	回答数	比率
導入した方がよい	546	47.3%
どちらでもよい	319	27.7%
市が整備・運営した方がよい	246	21.3%
その他	25	2.2%
無回答	17	1.5%
合計	1,153	100.0%



【問6】民間事業者の導入について (SA)

○その他の主な意見

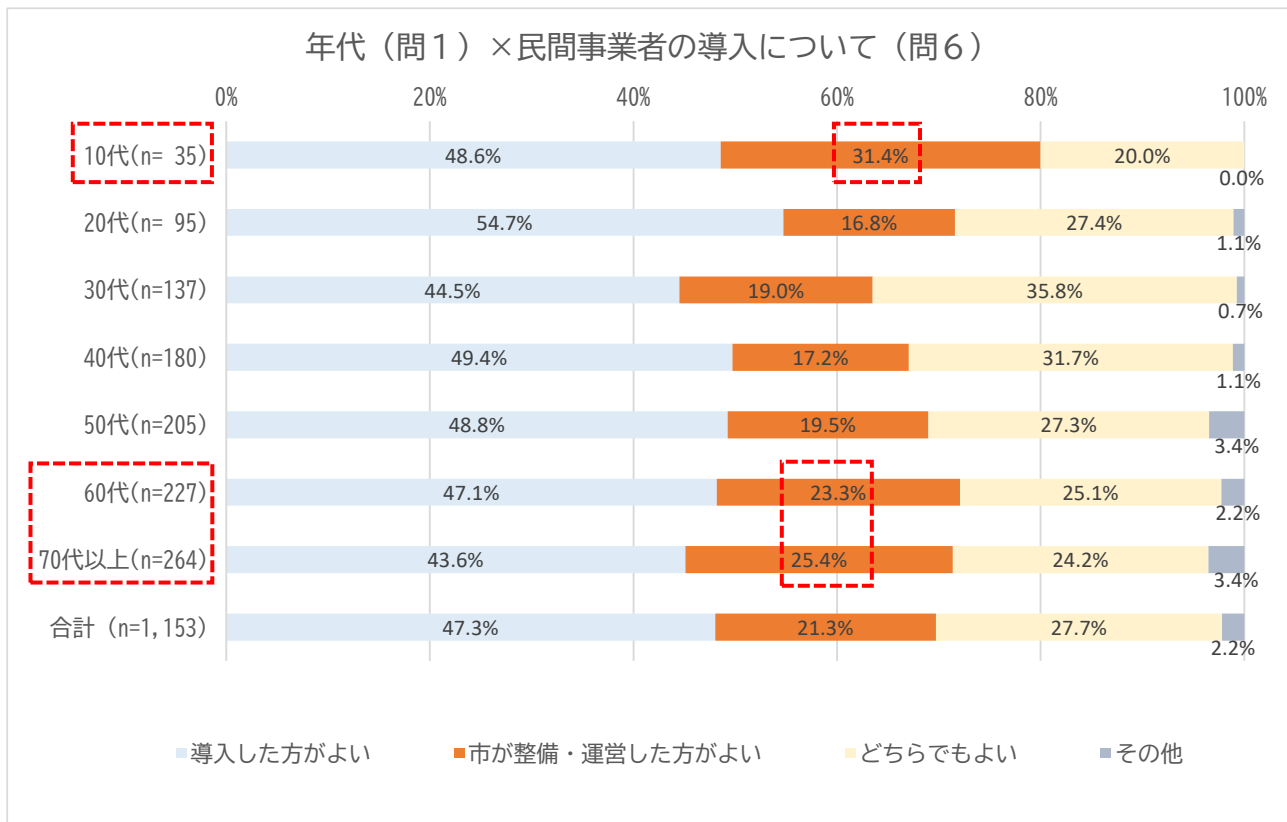
どのような日高市にしたいのか/埼玉（日高市）物流に適している。これらの事業を考えて/  
 外国人やもうけ主義の事業者はダメ/災害時の為なら市が運営/市民の意見をききつつの民間  
 導入を願います/アウトソーシングした方が良いがきちんとした会社を選定すべき など

〈回答の傾向〉

最も多いのは「導入した方がよい」であり、次いで「どちらでもよい」、「市が整備・運営した方がよい」の順となっています。

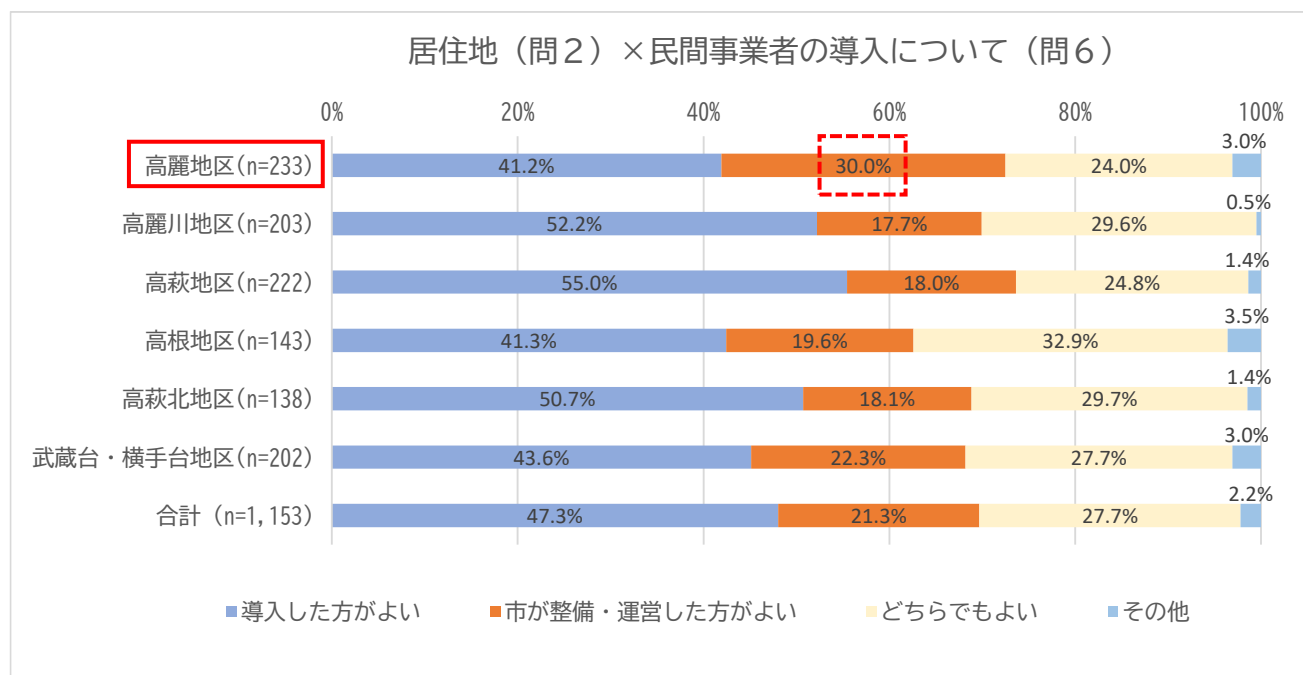
### 【年代別の回答傾向】

・すべての年代において「導入した方がよい」の割合が全体の約5割近くになっています。また10代、60代、70代以上で「市が整備・運営した方がよい」の割合が市全体を上回っています。



### 【居住地別の回答傾向】

・高麗地区の傾向をみると、「導入した方がよい」の割合が最も大きくなっていますが、「市が整備・運営した方がよい」の割合が他の地区と比べて大きくなっています。





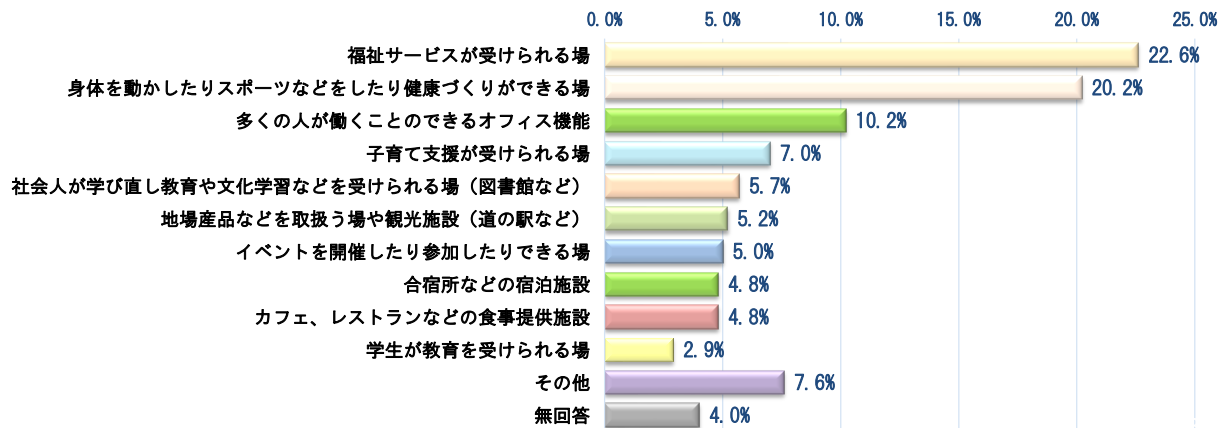
# 【高根中学校跡地】

### 3. 高根中学校跡地活用について

#### (1)活用の方法について

【問 8】高根中学校について、どのような活用が望ましいと思いますか。  
(あてはまるもの1つに○)

活用の方法	回答数	比率
福祉サービスが受けられる場	260	22.6%
身体を動かしたりスポーツなどをしたり健康づくりができる場	233	20.2%
多くの人が働くことのできるオフィス機能	118	10.2%
子育て支援が受けられる場	81	7.0%
社会人が学び直し教育や文化学習などを受けられる場（図書館など）	66	5.7%
地場産品などを取扱う場や観光施設（道の駅など）	60	5.2%
イベントを開催したり参加したりできる場	57	5.0%
合宿所などの宿泊施設	55	4.8%
カフェ、レストランなどの食事提供施設	55	4.8%
学生が教育を受けられる場	34	2.9%
その他	88	7.6%
無回答	46	4.0%
合 計	1,153	100.0%



【問 8】高根中学校の活用方法 (SA)

#### ○その他の主な意見

農地にもどす/多目的に使えるようにする/福祉サービス+子育て/全世代が対象の自然や歴史を学べる施設/「調整区域」と「土砂災害警戒区域」の為活用しなくて良い/売却する/住宅用地 など

#### 〈回答の傾向〉

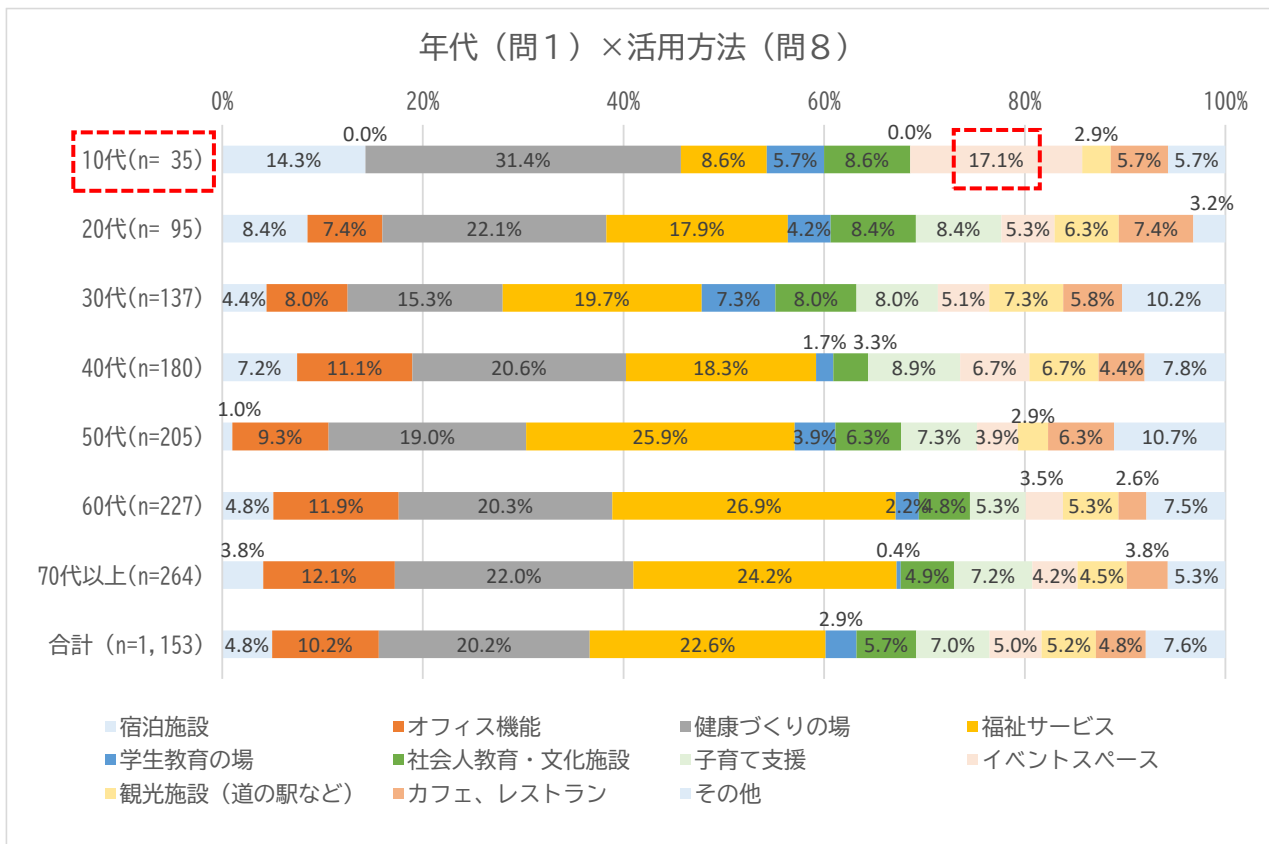
最も多いのは「福祉サービスが受けられる場」であり、次いで「身体を動かしたりスポーツなどをしたり健康づくりができる場」、「多くの人が働くことのできるオフィス機能」の順となっています。



【年代別の回答傾向】

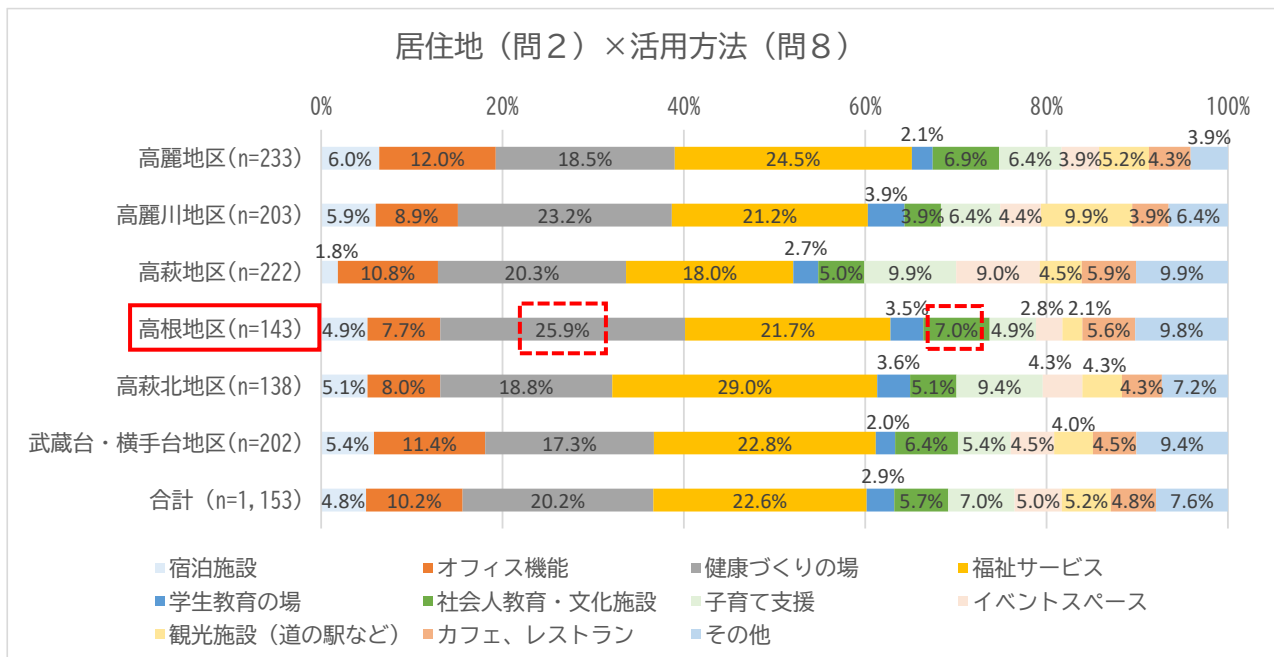
※選択肢を略称で表記しています

- ・各年代とも、「健康づくりの場」と「福祉サービス」の割合が大きくなっています。また10代では、他の年代に比べて「イベントスペース」の割合が大きくなっています。



【居住地別の回答傾向】

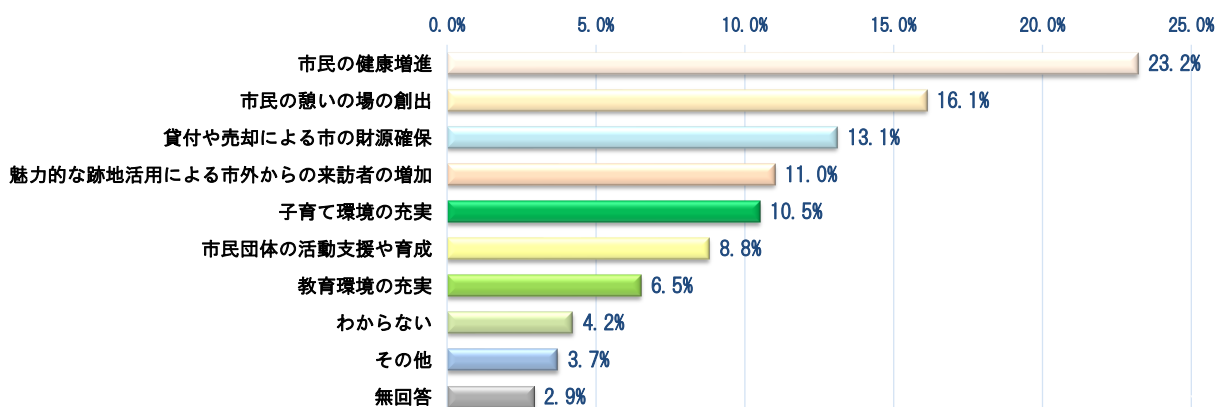
- ・高根中学校が立地する高根地区の傾向をみると、「健康づくりの場」の割合が最も大きくなっています。
- ・また、「社会人教育・文化施設」が他地区と比較してやや大きくなっています。



(2)期待される効果について

【問9】高根中学校の活用により、どのような効果を期待しますか。  
(あてはまるもの1つに○)

効果の期待	回答数	比率
市民の健康増進	267	23.2%
市民の憩いの場の創出	185	16.1%
貸付や売却による市の財源確保	151	13.1%
魅力的な跡地活用による市外からの来訪者の増加	127	11.0%
子育て環境の充実	121	10.5%
市民団体の活動支援や育成	102	8.8%
教育環境の充実	75	6.5%
わからない	49	4.2%
その他	43	3.7%
無回答	33	2.9%
合計	1,153	100.0%



【問9】活用による期待される効果 (SA)

○その他の主な意見

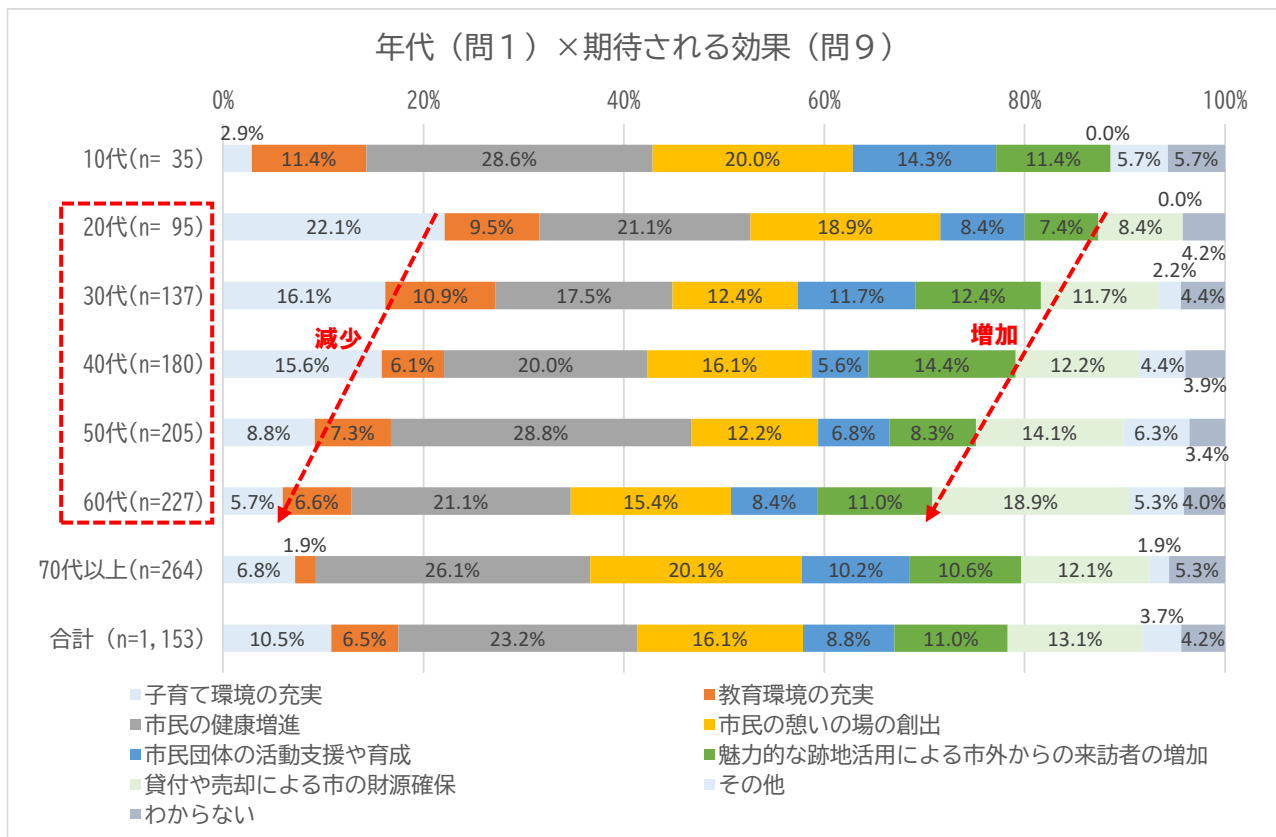
交流の促進/障がい者や高齢者のサービス充実/老人介護施設/サテライトオフィスによる人口増加/駅から歩ける距離なので企業の誘致 など

〈回答の傾向〉

最も多いのは「市民の健康増進」であり、次いで「市民の憩いの場の創出」、「貸付や売却による市の財源確保」の順となっています。

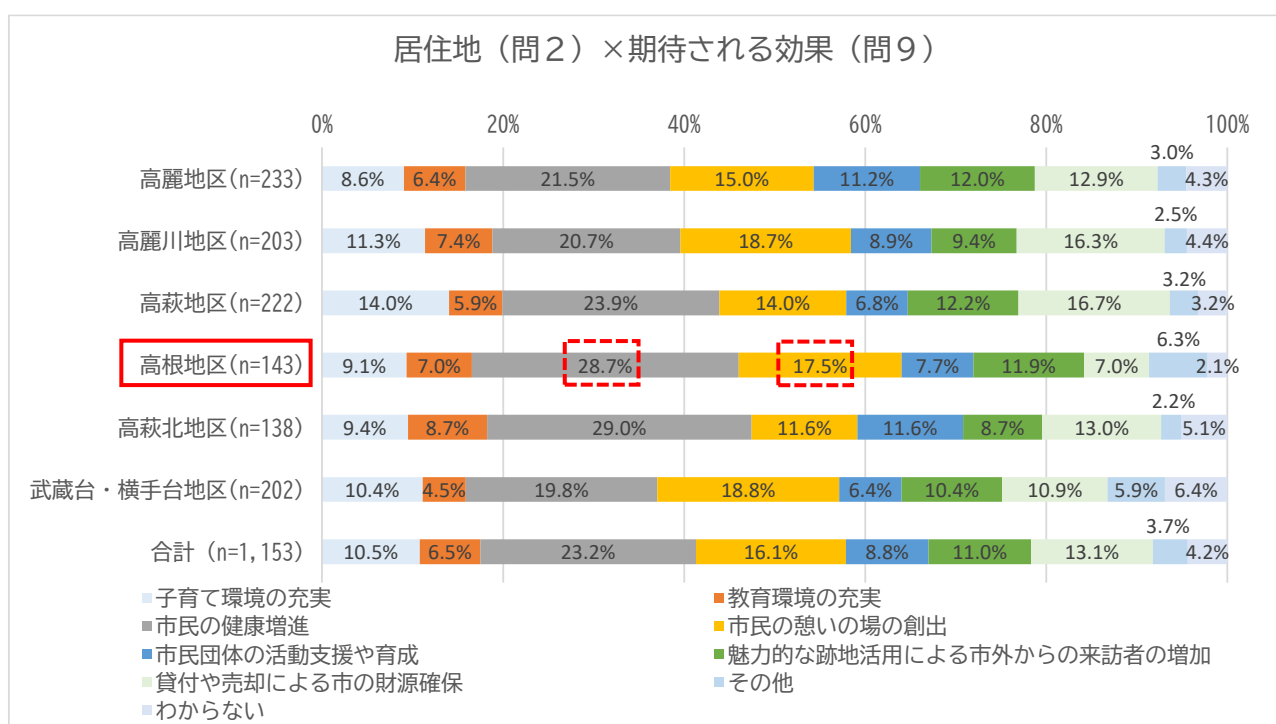
### 【年代別の回答傾向】

・「子育て環境の充実」の割合は、20代から年代が上がるほど減少傾向にあり、その一方で「貸付や売却による市の財源確保」の割合は年代が上がるほど割合が増加しています。



### 【居住地別の回答傾向】

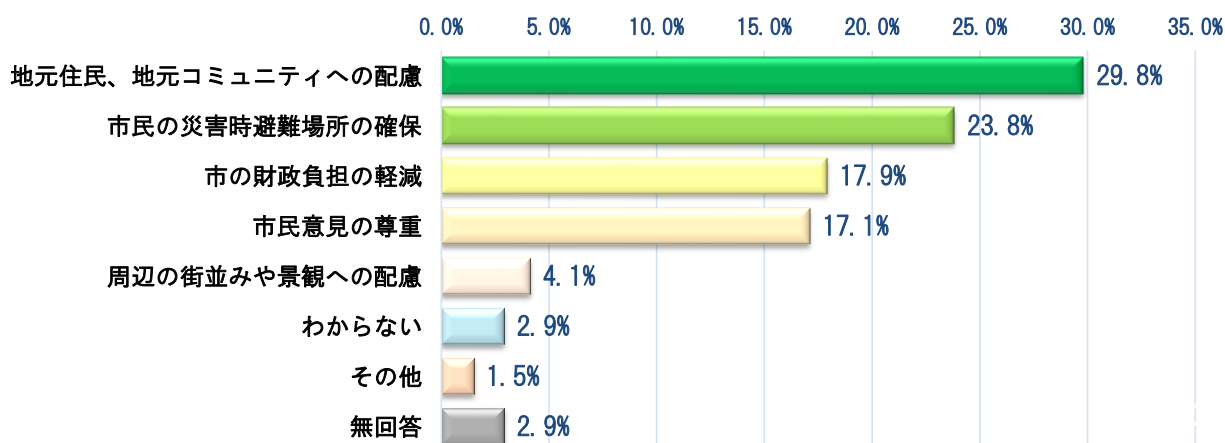
・高根地区の傾向をみると、「市民の健康増進」の割合が最も大きく、市全体の数値を上回っています。また、「市民の憩いの場の創出」も市全体の数値を上回っています。



(3)活用の際の留意点について

【問 10】 高根中学校の活用の際、どのようなことに留意した方がよいと思いますか。  
 (あてはまるもの1つに○)

活用の際の留意点	回答数	比率
地元住民、地元コミュニティへの配慮	344	29.8%
市民の災害時避難場所の確保	274	23.8%
市の財政負担の軽減	206	17.9%
市民意見の尊重	197	17.1%
周辺の街並みや景観への配慮	47	4.1%
わからない	34	2.9%
その他	17	1.5%
無回答	34	2.9%
合 計	1,153	100.0%



【問 10】 活用の際の留意点 (SA)

○その他の主な意見

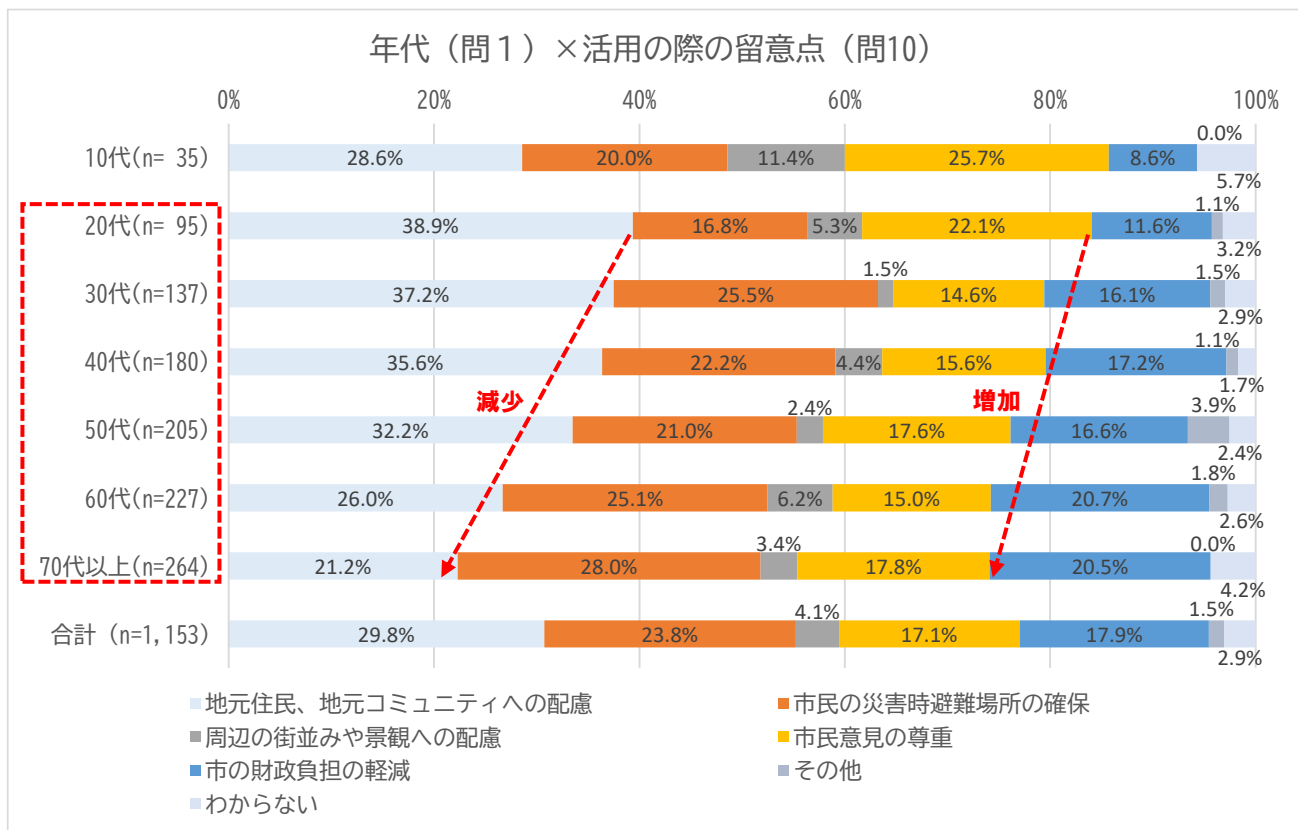
市と民間事業者の連携/公共交通の確保/地元の方との徹底した話し合い/大きな道路を作らないで景観を保つ/子どもの利益になる未来を想定した活用 など

〈回答の傾向〉

最も多いのは「地元住民、地元コミュニティへの配慮」であり、次いで「市民の災害時避難場所の確保」、「市の財政負担の軽減」の順となっています。

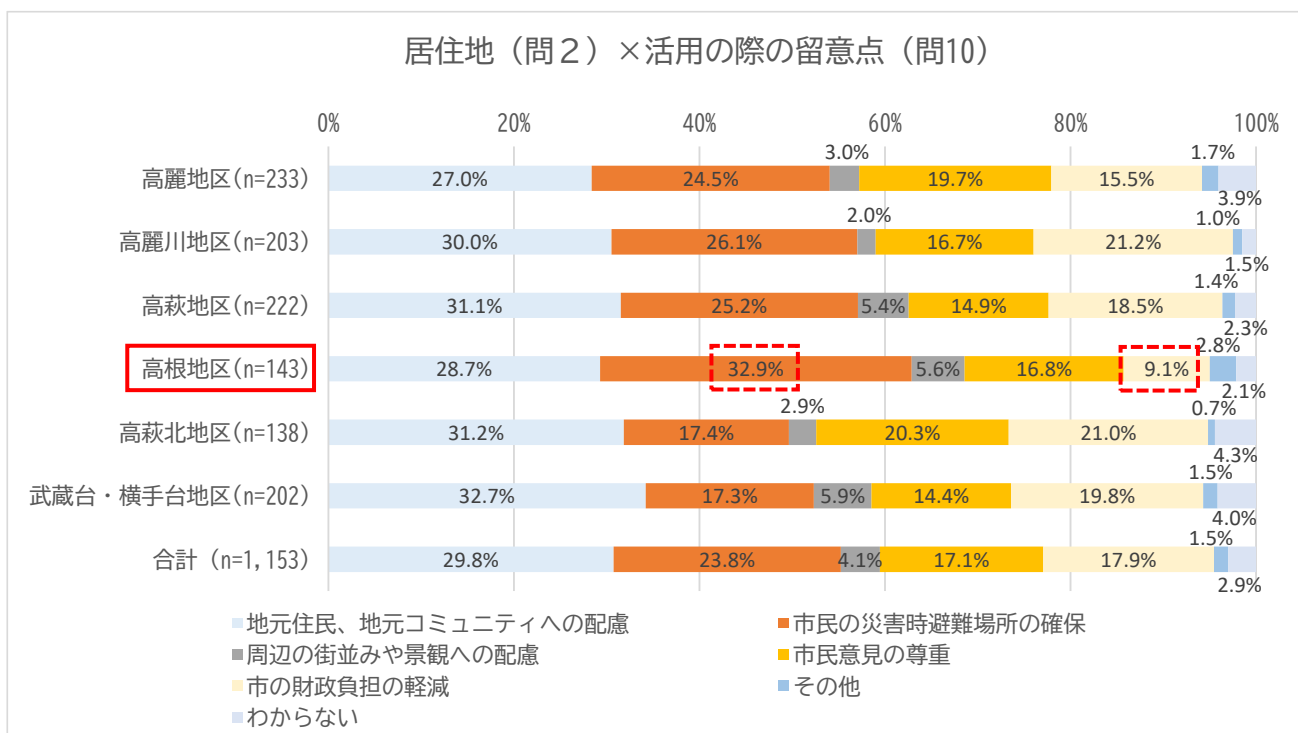
### 【年代別の回答傾向】

・20代から年代が上がるほど「地元住民、地元コミュニティへの配慮」の割合が減少しています。一方で、「市の財政負担の軽減」の割合は年代が上がるほど増加しています。



### 【居住地別の回答傾向】

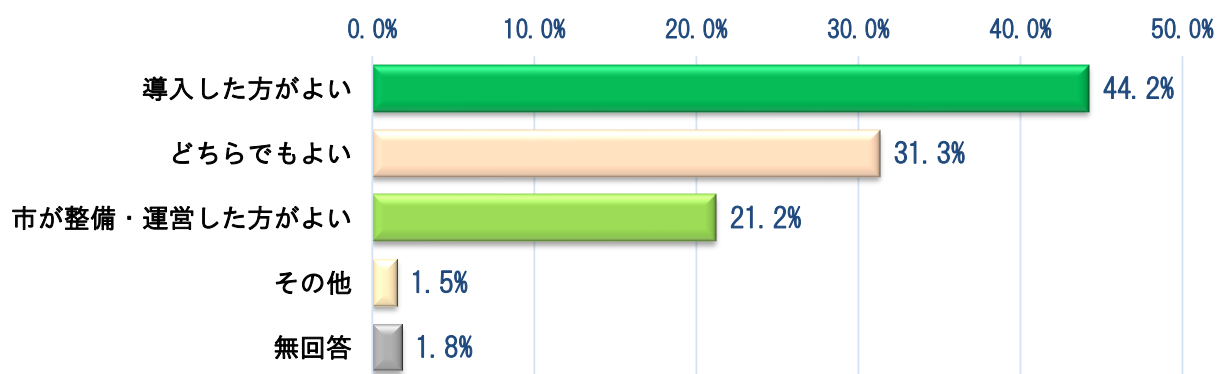
・高根地区の傾向をみると、「市民の災害時避難場所の確保」の割合が最も大きく、市全体の数値を上回っています。一方、「市の財政負担の軽減」の割合は市全体の数値を大きく下回っています。



#### (4)民間事業者の導入について

【問 11】跡地活用の民間事業者の導入について、どのようにお考えですか。  
(あてはまるもの1つに○)

民間事業者の導入について	回答数	比率
導入した方がよい	509	44.2%
どちらでもよい	361	31.3%
市が整備・運営した方がよい	245	21.2%
その他	17	1.5%
無回答	21	1.8%
合 計	1,153	100.0%



【問 11】民間事業者の導入について (SA)

#### ○その他の主な意見

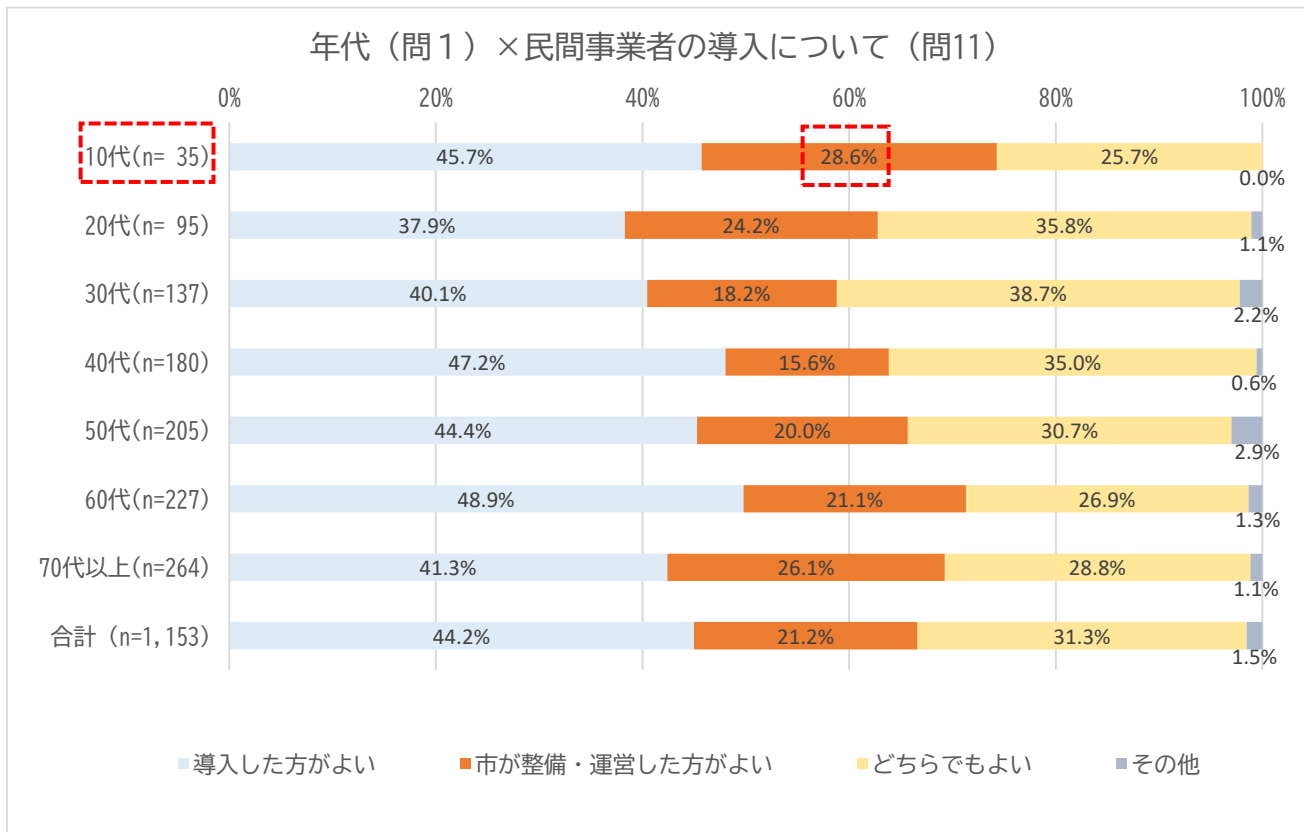
市民のために厳選した事業者/民間事業と市が提携/住民の意見をきいて民間に入ってもらう/第3セクター/きちんとした管理ができる事業者であれば導入してもよい など

#### 〈回答の傾向〉

最も多いのは「導入した方がよい」であり、次いで「どちらでもよい」、「市が整備・運営した方がよい」の順となっています。

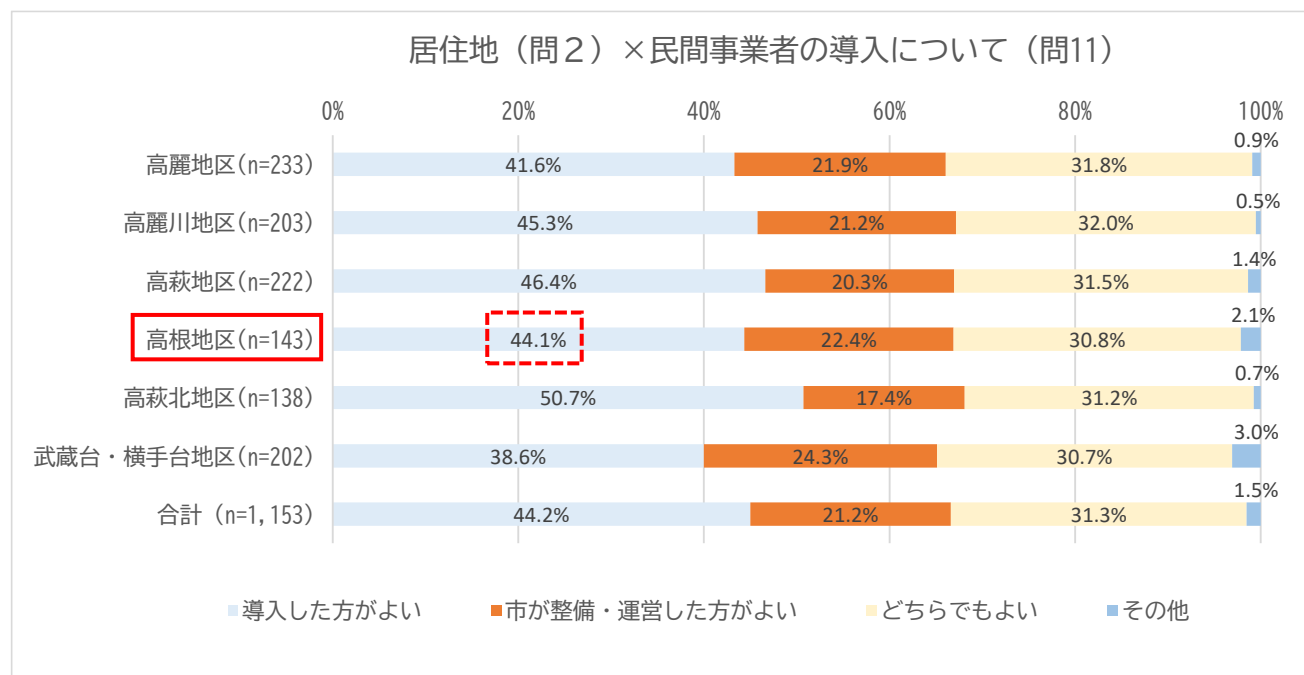
### 【年代別の回答傾向】

・すべての年代において「導入した方がよい」の割合が最も大きくなっています。また、「市が整備・運営した方がよい」の割合は10代が他の年代に比べて大きくなっています。



### 【居住地別の回答傾向】

・高根地区の傾向をみると、「導入した方がよい」の割合が大きくなっており、市全体とほぼ同様の傾向となっています。







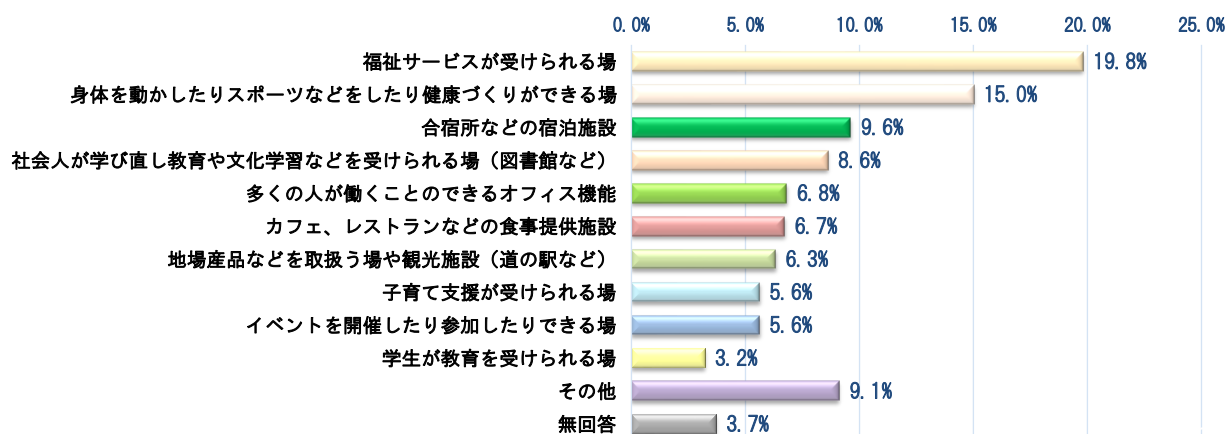
# 【武蔵台中学校跡地】

#### 4. 武蔵台中学校跡地活用について

##### (1)活用の方法について

【問 13】 武蔵台中学校について、どのような活用が望ましいと思いますか。  
 (あてはまるもの1つに○)

活用の方法	回答数	比率
福祉サービスが受けられる場	228	19.8%
身体を動かしたりスポーツなどをしたり健康づくりができる場	173	15.0%
合宿所などの宿泊施設	110	9.6%
社会人が学び直し教育や文化学習などを受けられる場（図書館など）	99	8.6%
多くの人が働くことのできるオフィス機能	78	6.8%
カフェ、レストランなどの食事提供施設	77	6.7%
地場産品などを取扱う場や観光施設（道の駅など）	73	6.3%
子育て支援が受けられる場	65	5.6%
イベントを開催したり参加したりできる場	65	5.6%
学生が教育を受けられる場	37	3.2%
その他	105	9.1%
無回答	43	3.7%
合 計	1,153	100.0%



【問 13】 武蔵台中学校の活用方法（SA）

##### ○その他の主な意見

災害リスク有のため、活用しない/災害を防ぐ措置をして自然にもどす/防災施設/電力施設（ソーラーパネル）/多目的に使えるようにする/老人ホーム/売却した方が良く/住宅用地/など

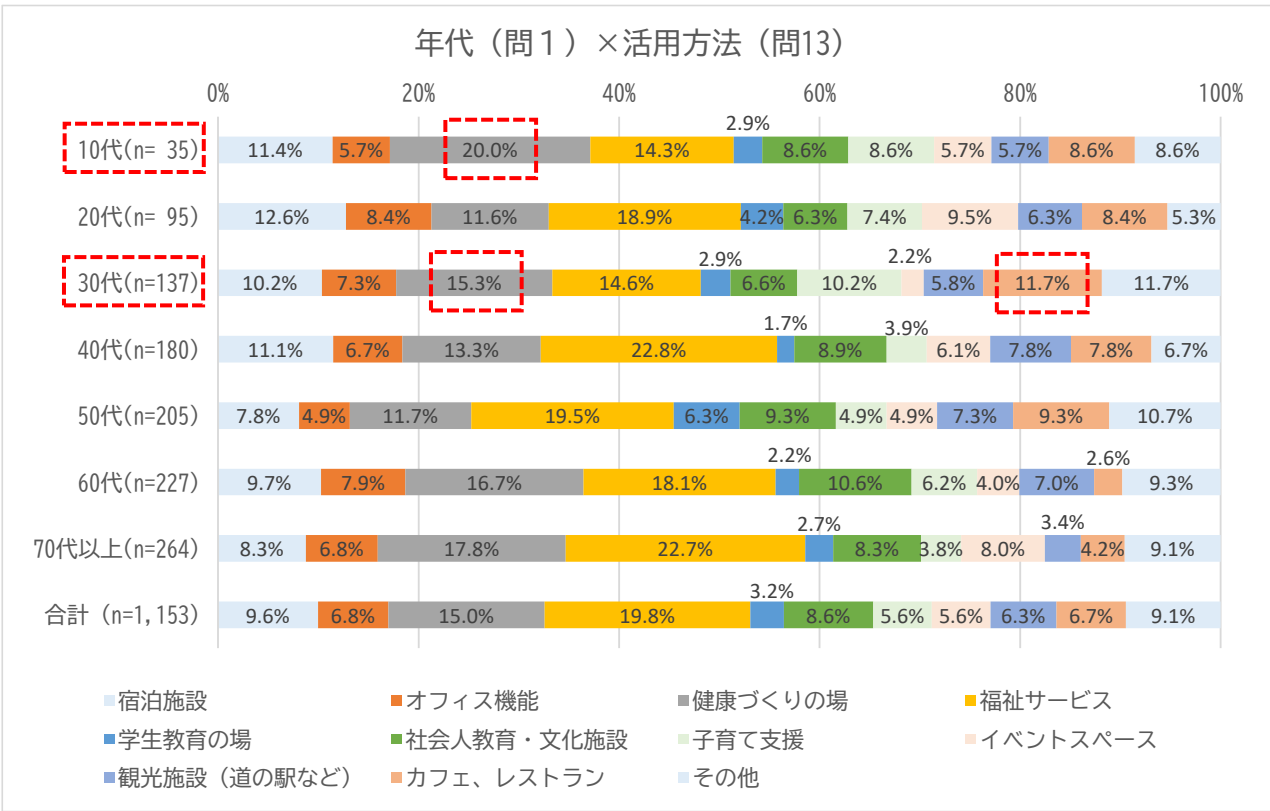
##### 〈回答の傾向〉

最も多いのは「福祉サービスが受けられる場」であり、次いで「身体を動かしたりスポーツなどをしたり健康づくりができる場」、「合宿所などの宿泊施設」の順となっています。

【年代別の回答傾向】

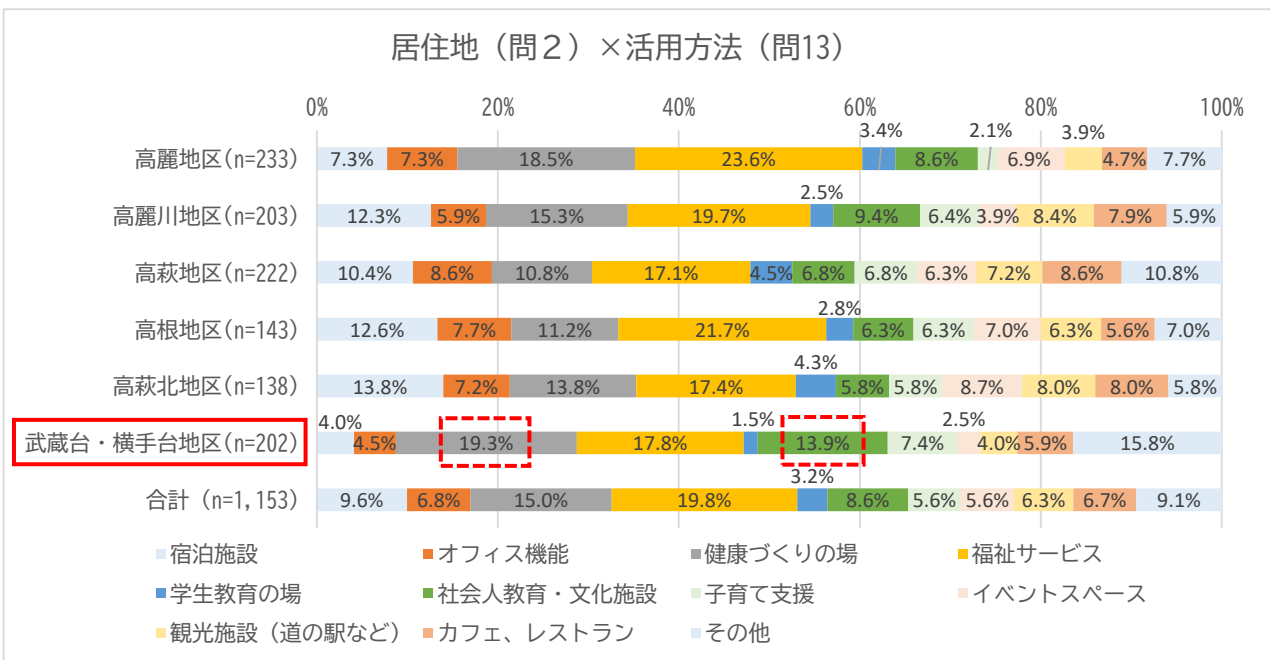
※選択肢を略称で表記しています

・10代と30代では「健康づくりの場」の割合が最も大きく、それ以外の年代では「福祉サービス」の割合が最も大きくなっています。また、30代では「カフェ・レストラン」の割合が大きくなっています。



【居住地別の回答傾向】

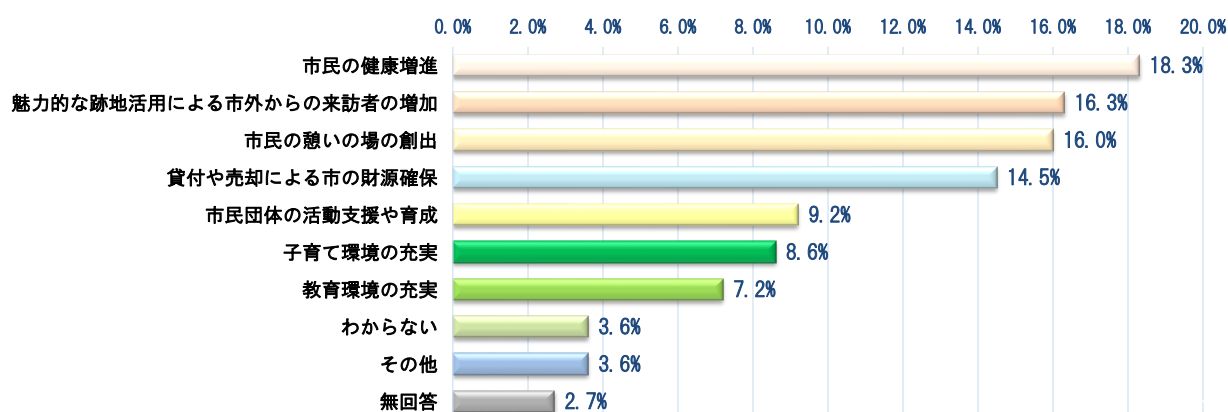
・武蔵台中学校が立地する武蔵台・横手台地区の傾向をみると、「健康づくりの場」の割合が最も大きくなっています。また、他地区と比べ「社会人教育・文化施設」の割合が大きくなっています。



(2)期待される効果について

【問 14】 武蔵台中学校の活用により、どのような効果を期待しますか。  
 (あてはまるもの1つに○)

効果の期待	回答数	比率
市民の健康増進	211	18.3%
魅力的な跡地活用による市外からの来訪者の増加	188	16.3%
市民の憩いの場の創出	185	16.0%
貸付や売却による市の財源確保	167	14.5%
市民団体の活動支援や育成	106	9.2%
子育て環境の充実	99	8.6%
教育環境の充実	83	7.2%
わからない	42	3.6%
その他	41	3.6%
無回答	31	2.7%
合 計	1,153	100.0%



【問 14】 活用による期待される効果 (SA)

○その他の主な意見

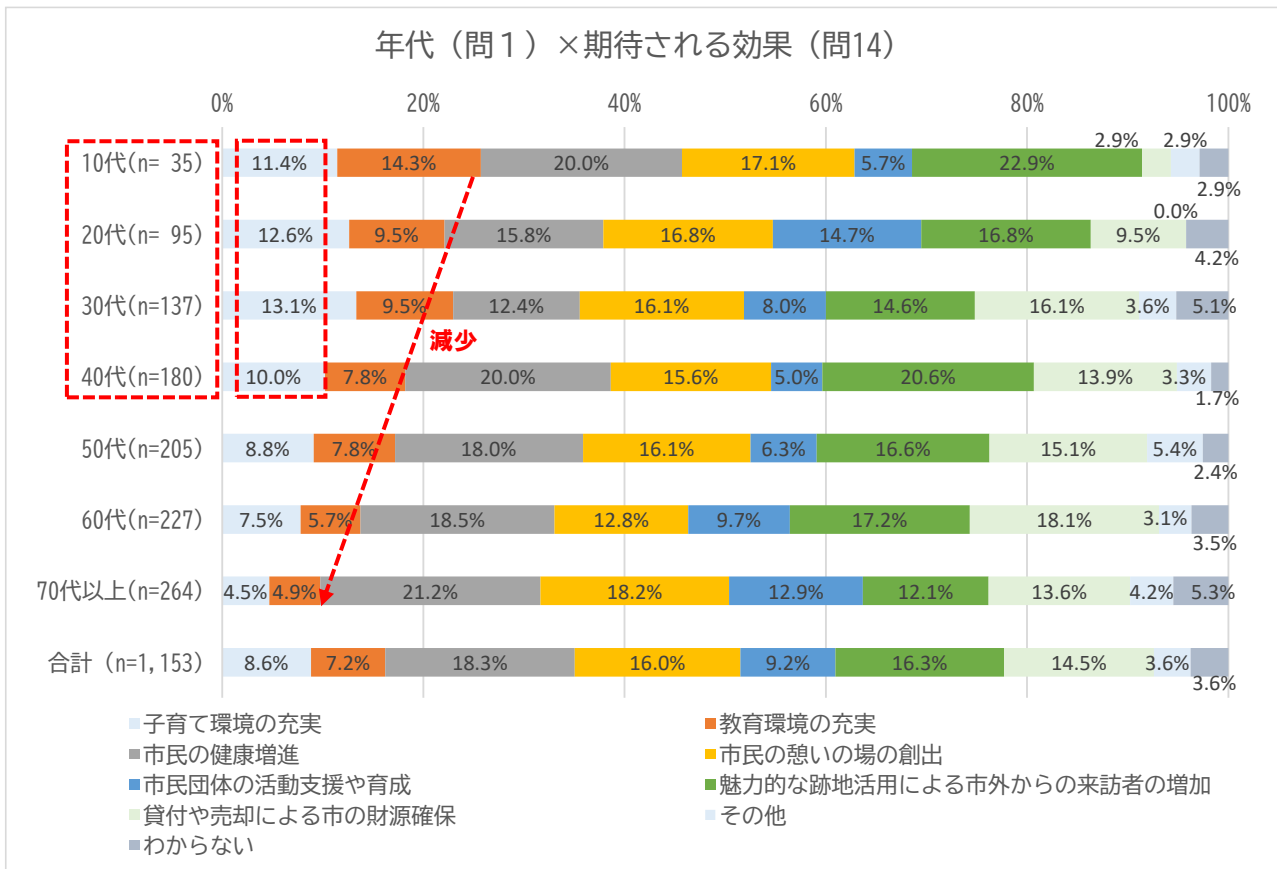
高齢者や障がい者の福祉を支える/子育て世代が住んで良いと思える場の構築/植林をして土砂災害を小さく食い止める/緑豊かな日高市の憩いの森として地域住民やハイカーに開放など

〈回答の傾向〉

最も多いのは「市民の健康増進」であり、次いで「魅力的な跡地活用による市外からの来訪者の増加」、「市民の憩いの場の創出」の順となっています。

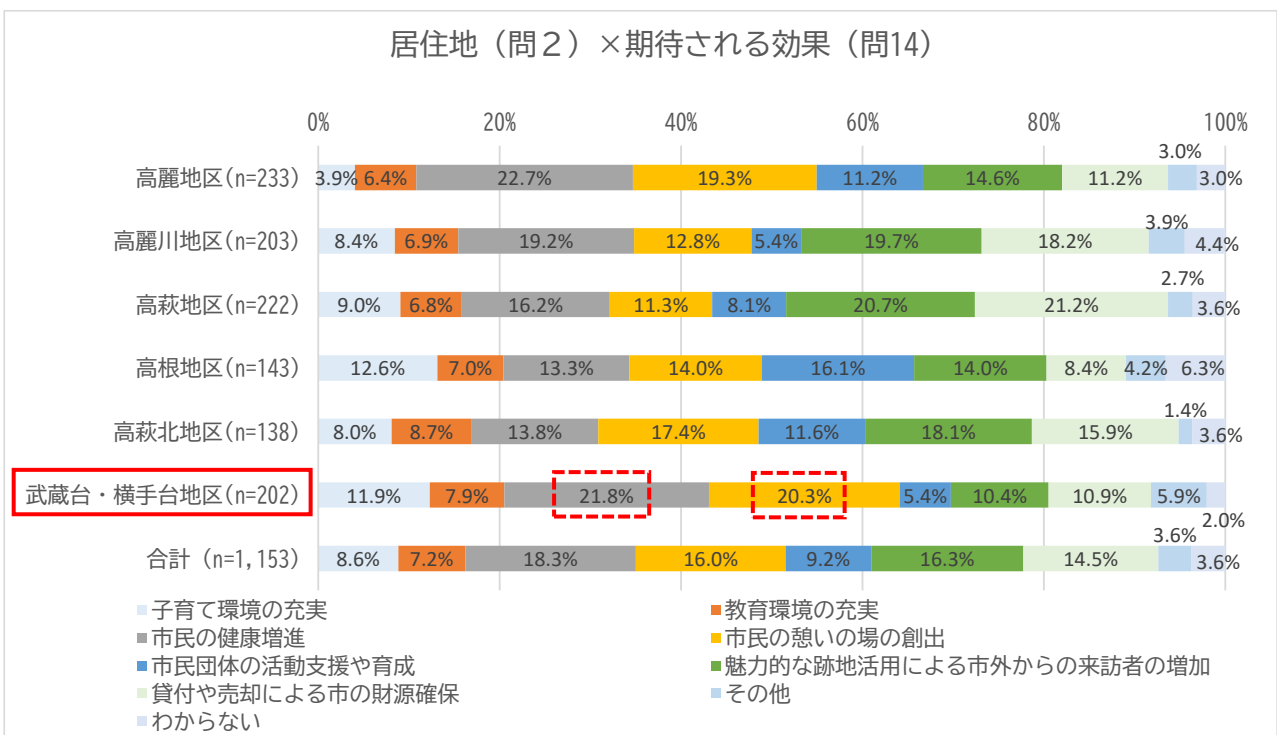
【年代別の回答傾向】

・10代から40代までの世代では、「子育て環境の充実」が10%以上であり、市全体の数値を上回っています。また、「教育環境の充実」は年代が上がるにつれて割合が減少しています。



【居住地別の回答傾向】

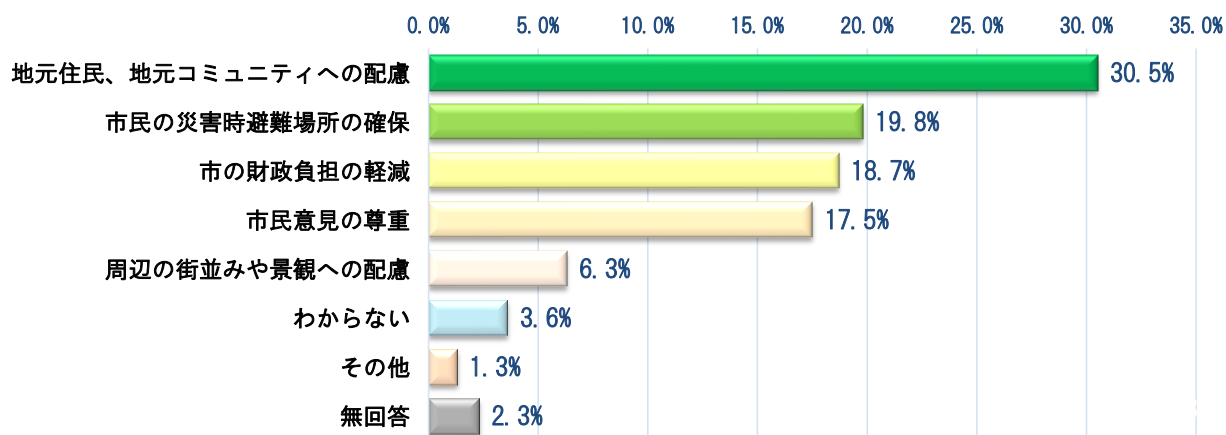
・武蔵台・横手台地区の傾向をみると、「市民の健康増進」の割合が最も大きくなっています。また、「市民の憩いの場の創出」の割合が全地区の中で最も大きくなっています。



(3)活用の際の留意点について

【問 15】 武蔵台中学校の活用の際、どのようなことに留意した方がよいと思いますか。  
 (あてはまるもの1つに○)

活用の際の留意点	回答数	比率
地元住民、地元コミュニティへの配慮	351	30.5%
市民の災害時避難場所の確保	228	19.8%
市の財政負担の軽減	216	18.7%
市民意見の尊重	202	17.5%
周辺の街並みや景観への配慮	73	6.3%
わからない	42	3.6%
その他	15	1.3%
無回答	26	2.3%
合計	1,153	100.0%



【問 15】 活用の際の留意点 (SA)

○その他の主な意見

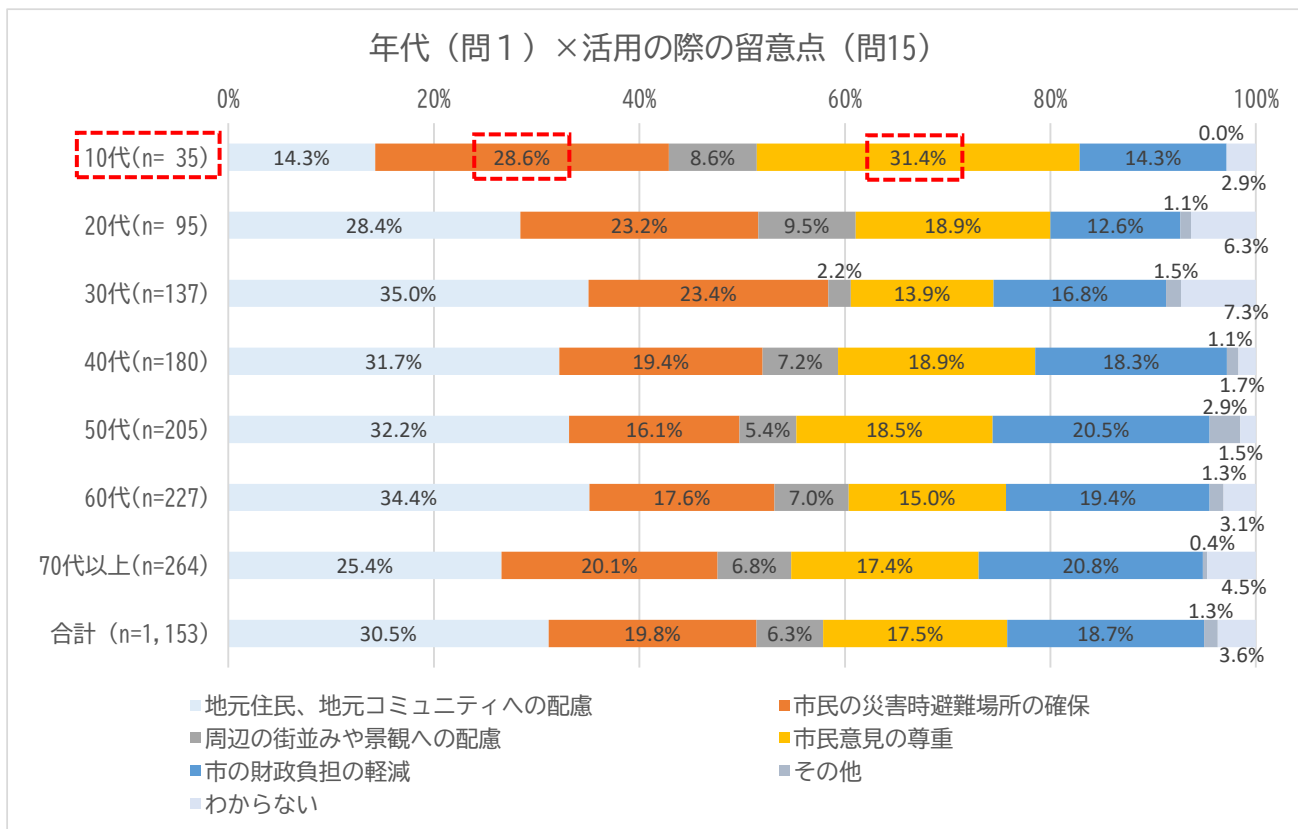
すぐ裏が良い山なので自然保護/活用しない方が良い/住民の意見を聞く/移り住んできて良かったと思える場づくり/土砂災害警戒区域内に施設は建てられない など

〈回答の傾向〉

最も多いのは「地元住民、地元コミュニティへの配慮」であり、次いで「市民の災害時避難場所の確保」、「市の財政負担の軽減」の順となっています。

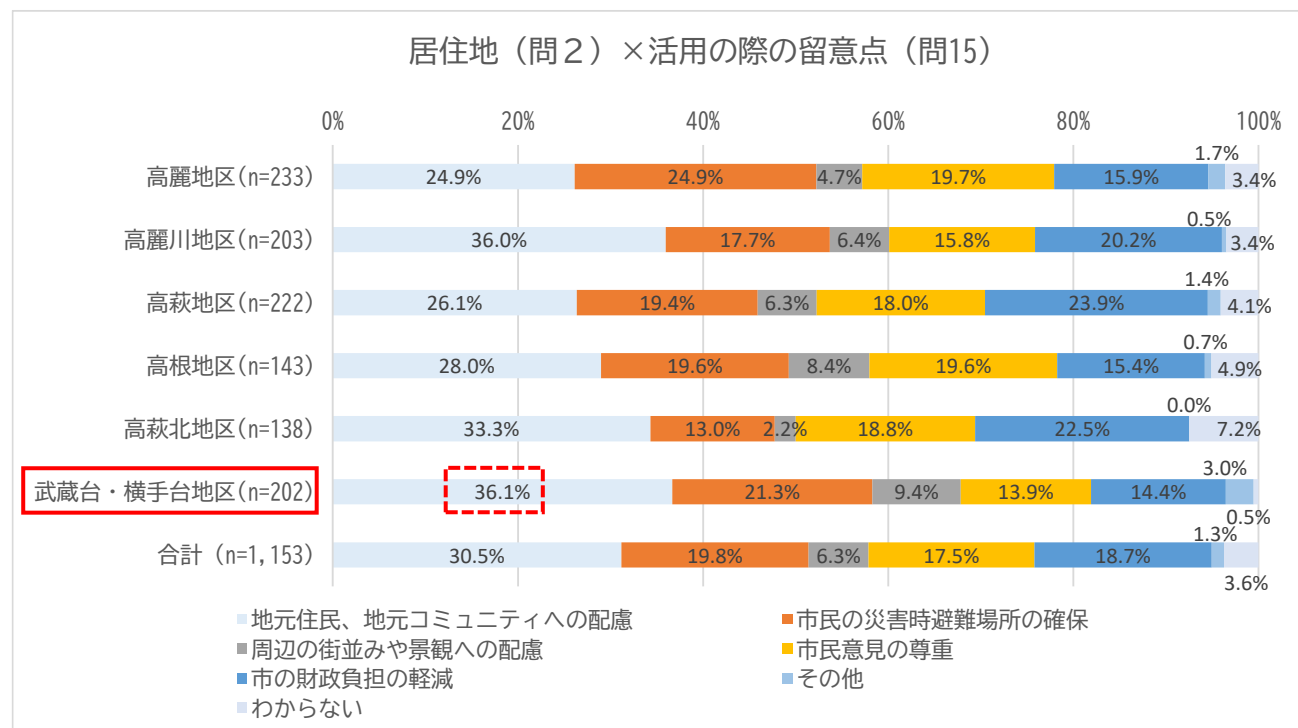
### 【年代別の回答傾向】

・10代以外の年代で「地元住民、地元コミュニティへの配慮」の割合が大きくなっています。また、10代では「市民意見の尊重」と「市民の災害時避難場所の確保」の割合が他の年代に比べて大きくなっています。



### 【居住地別の回答傾向】

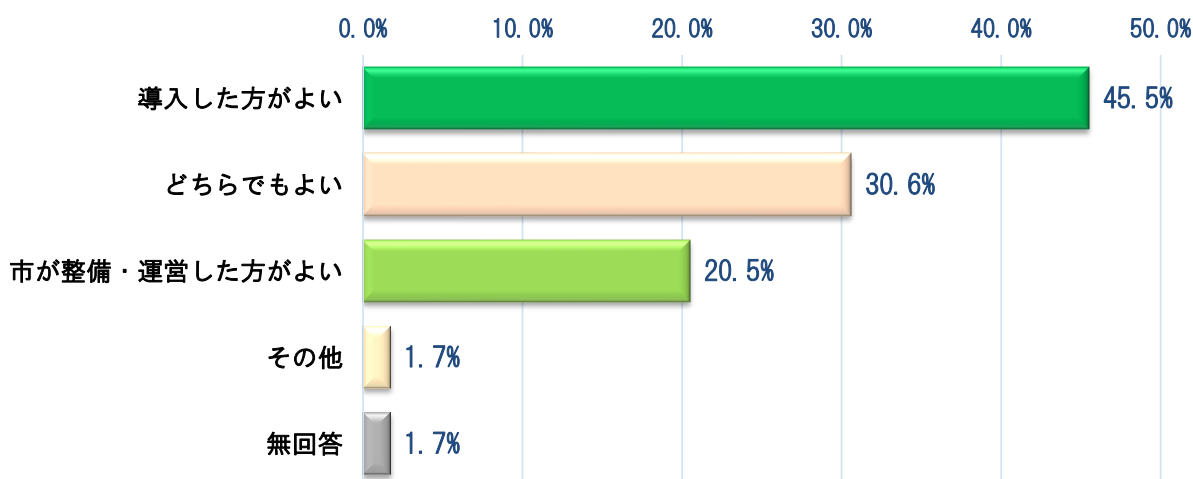
・武蔵台・横手台地区の傾向をみると、「地元住民、地元コミュニティへの配慮」の割合が最も大きくなっています。



(4)民間事業者の導入について

【問 16】跡地活用の民間事業者の導入について、どのようにお考えですか。  
 (あてはまるもの1つに○)

民間事業者の導入について	回答数	比率
導入した方がよい	524	45.5%
どちらでもよい	353	30.6%
市が整備・運営した方がよい	236	20.5%
その他	20	1.7%
無回答	20	1.7%
合 計	1,153	100.0%



【問 16】民間事業者の導入について (SA)

○その他の主な意見

地元住宅のために信頼できる事業者を厳選/住民の意見をきいての導入/JAとの協働/第3セクター/適切な税金活用/市が主体性を持って全面的に取り壊したうえ、跡地を公園として整備 など

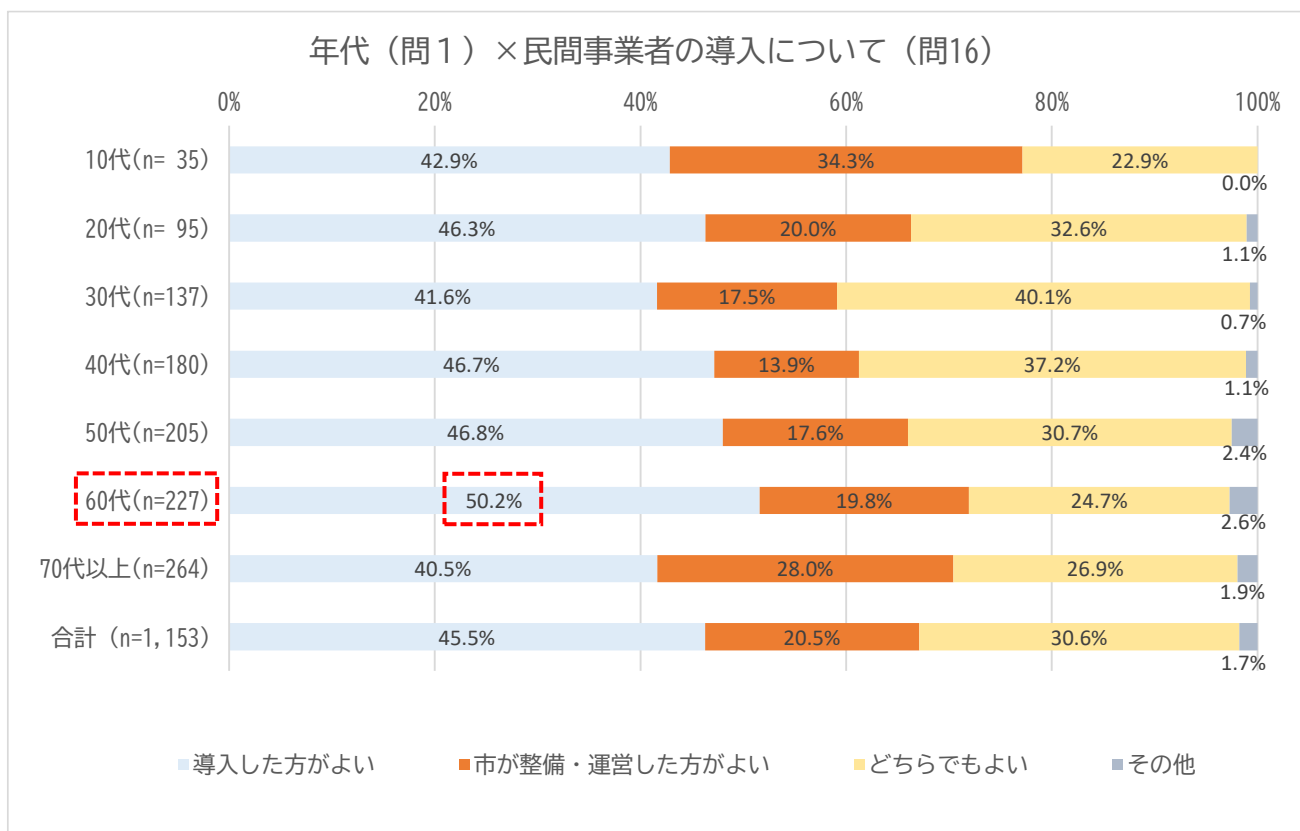
〈回答の傾向〉

最も多いのは「導入した方がよい」であり、次いで「どちらでもよい」、「市が整備・運営した方がよい」の順となっています。



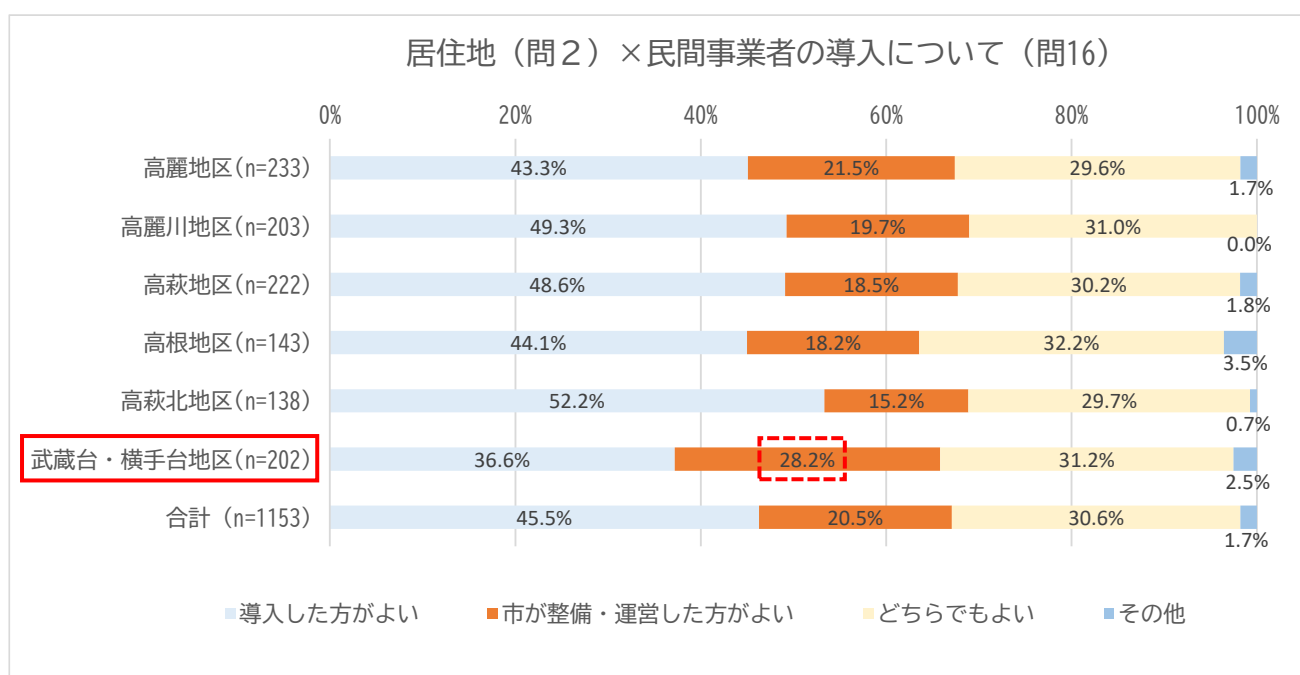
### 【年代別の回答傾向】

・すべての年代において「導入した方がよい」の割合が最も大きく、特に60代ではその傾向が大きくなっています。



### 【居住地別の回答傾向】

・武蔵台・横手台地区の傾向をみると、「導入した方がよい」の割合が最も大きくなっていますが、「市が整備・運営した方がよい」の割合は、市全体の数値を上回っています。





## 第3章 調査結果のまとめ

### 1. 設問ごとの傾向のまとめ

#### (1)活用方法について

##### 1)学校跡地ごとの回答傾向

- 高麗小学校は、周辺に観光資源があることからそれらとの連携を考慮した活用が求められているといえます。（その他ではキャンプ場などもみられた）。
- 高麗小は域外からの利用、高根中及び武蔵台中は地元住民の利用を想定した回答が多くなっているといえます。
- いずれの跡地でも「福祉サービス」、「健康づくりの場」が上位となっています。

表 学校ごとの上位

高麗小学校跡地（問3）	高根中学校跡地（問8）	武蔵台中学校跡地（問13）
①道の駅など観光関連（30.7%）	①福祉サービス（22.6%）	①福祉サービス（19.8%）
②健康づくりの場（13.0%）	②健康づくりの場（20.2%）	②健康づくりの場（15.0%）
③福祉サービス（11.1%）	③オフィス機能（10.2%）	③合宿等の宿泊施設（9.6%）
④合宿等の宿泊施設（8.3%）	④子育て支援（7.0%）	④教育・文化施設（8.6%）
⑤カフェ・レストラン（6.3%）	⑤教育・文化施設（5.7%）	⑤オフィス機能（6.8%）

#### 2)属性(年代・居住地)とのクロス集計から読み取れる傾向

##### ①高麗小学校

- ・すべての年代において「観光施設（道の駅など）」の割合が最も大きくなっています。
- ・10代では「健康づくりの場」、70代以上では「福祉サービス」の割合が他の年代よりも大きくなっています。
- ・高麗小学校が立地する高麗地区の傾向をみると、「観光施設（道の駅など）」の割合が最も大きいものの他地区に比べて割合が低く、「福祉サービス」の割合が他地区と比較してやや大きくなっています。

##### ②高根中学校

- ・各年代とも、「健康づくりの場」と「福祉サービス」の割合が大きくなっています。また10代では、他の年代に比べて「イベントスペース」の割合が大きくなっています。
- ・高根中学校が立地する高根地区の傾向をみると、「健康づくりの場」の割合が最も大きくなっています。また、「社会人教育・文化施設」の割合が他地区と比較してやや大きくなっています。

##### ③武蔵台中学校

- ・10代と30代では「健康づくりの場」の割合が最も大きく、それ以外の年代では「福祉サービス」の割合が最も大きくなっています。また、30代では「カフェ・レストラン」の割合が大きくなっています。
- ・武蔵台中学校が立地する武蔵台・横手台地区の傾向をみると、「健康づくりの場」の割合が最も大きくなっています。また、他地区と比べ「社会人教育・文化施設」の割合が大きくなっています。

## (2)期待される効果について

### 1)学校跡地ごとの回答傾向

- 高麗小学校は、「来訪者の増加」が突出して多くなっています。
- 「健康増進」と「憩いの場」はすべての跡地で上位となっています。
- 高根中のみで「貸付・売却等財源確保」がベスト3に入っています。

表 学校ごとの上位

高麗小学校跡地（問4）	高根中学校跡地（問9）	武蔵台中学校跡地（問14）
①来訪者の増加（42.9%）	①市民の健康増進（23.2%）	①市民の健康増進（18.3%）
②市民の健康増進（12.7%）	②市民の憩いの場（16.1%）	②来訪者の増加（16.3%）
③市民の憩いの場（12.2%）	③貸付・売却等財源確保（13.1%）	③市民の憩いの場（16.0%）

### 2)属性(年代・居住地)とのクロス集計から読み取れる傾向

#### ①高麗小学校

- ・すべての年代において「魅力的な跡地活用による市外からの来訪者の増加」の割合が最も大きくなっています。
- ・20代、30代では「子育て環境の充実」、10代では「市民の健康増進」、70代以上では「市民の憩いの場の創出」の割合が他の年代よりも大きくなっています。
- ・高麗地区の傾向をみると、他地区同様「来訪者の増加」の割合が最も大きくなっていますが、「市民の憩いの場の創出」、「市民の健康増進」の割合が他地区よりも大きくなっています。

#### ②高根中学校

- ・「子育て環境の充実」の割合は、20代から年代が上がるほど減少傾向にあり、その一方で「貸付や売却による市の財源確保」の割合は年代が上がるほど割合が増加しています。
- ・高根地区の傾向をみると、「市民の健康増進」の割合が最も大きく、市全体の数値を上回っています。また、「市民の憩いの場の創出」も市全体の数値を上回っています。

#### ③武蔵台中学校

- ・10代から40代までの世代では、「子育て環境の充実」が10%以上であり、市全体の数値を上回っています。また、「教育環境の充実」は年代が上がるにつれて割合が減少しています。
- ・武蔵台・横手台地区の傾向をみると、「市民の健康増進」の割合が最も大きくなっています。また、「市民の憩いの場の創出」の割合が全地区の中で最も大きくなっています。

### (3)活用の際の留意点について

#### 1)学校跡地ごとの回答傾向

○各跡地ともに同じ傾向となっています。

表 学校ごとの上位

高麗小学校跡地（問5）	高根中学校跡地（問10）	武蔵台中学校跡地（問15）
①地元への配慮（28.1%）	①地元への配慮（29.8%）	①地元への配慮（30.5%）
②避難場所確保（21.7%）	②避難場所確保（23.8%）	②避難場所確保（19.8%）
③市の財政負担軽減（16.3%）	③市の財政負担軽減（17.9%）	③市の財政負担軽減（18.7%）

#### 2)属性(年代・居住地)とのクロス集計から読み取れる傾向

##### ①高麗小学校

- ・すべての年代において「地元住民、地元コミュニティへの配慮」の割合が大きくなっています。
- ・10代では「市民の意見の尊重」の割合が各年代の中で最も大きくなっています。また、70代以上は「市民の災害避難場所の確保」の割合が「地元住民、地元コミュニティへの配慮」を上回っています。
- ・高麗地区の傾向をみると、「市民の災害時避難場所の確保」の割合が最も大きくなっています。

##### ②高根中学校

- ・20代から年代が上がるほど「地元住民、地元コミュニティへの配慮」の割合が減少しています。一方で、「市の財政負担の軽減」の割合は年代が上がるほど増加しています。
- ・高根地区の傾向をみると、「市民の災害時避難場所の確保」の割合が最も大きく、市全体の数値を上回っています。一方、「市の財政負担の軽減」の割合は市全体の数値を大きく下回っています。

##### ③武蔵台中学校

- ・10代以外の年代で「地元住民、地元コミュニティへの配慮」の割合が大きくなっています。また、10代では「市民意見の尊重」と「市民の災害時避難場所の確保」の割合が他の年代に比べて大きくなっています。
- ・武蔵台・横手台地区の傾向をみると、「地元住民、地元コミュニティへの配慮」の割合が最も大きくなっています。

#### (4)民間事業者の導入について

##### 1)学校跡地ごとの回答傾向

○民間事業者の導入については、3区とも「導入した方がよい」の割合が最も大きく、中でも高麗小学校跡地が大きな割合となっています。

表 学校ごとの上位

高麗小学校跡地（問6）	高根中学校跡地（問11）	武蔵台中学校跡地（問16）
①導入した方がよい（47.3%）	①導入した方がよい（44.2%）	①導入した方がよい（45.5%）
②どちらでもよい（27.7%）	②どちらでもよい（31.3%）	②どちらでもよい（30.6%）
③市が整備・運営（21.3%）	③市が整備・運営（21.2%）	③市が整備・運営（20.5%）

##### 2)属性(年代・居住地)とのクロス集計から読み取れる傾向

###### ①高麗小学校

- ・すべての年代において「導入した方がよい」の割合が全体の約5割になっています。また10代、60代、70代以上で「市が整備・運営した方がよい」の割合が市全体を上回っています。
- ・高麗地区の傾向をみると、「導入した方がよい」の割合が最も大きくなっていますが、「市が整備・運営した方がよい」の割合が他の地区と比べて大きくなっています。

###### ②高根中学校

- ・すべての年代において「導入した方がよい」の割合が最も大きくなっています。また、「市が整備・運営した方がよい」の割合は10代が他の年代に比べて大きくなっています。
- ・高根地区の傾向をみると、「導入した方がよい」の割合が大きくなっており、市全体とほぼ同様の傾向となっています。

###### ③武蔵台中学校

- ・すべての年代において「導入した方がよい」の割合が半数近くになっています。特に60代ではその傾向が大きくなっています。
- ・武蔵台・横手台地区の傾向をみると、「導入した方がよい」の割合が最も大きくなっていますが、「市が整備・運営した方がよい」の割合は、市全体の数値を上回っています。

## 2. 学校ごとの跡地活用の考え方

### (1)高麗小学校跡地

- ・ 周囲の観光資源と連携した、観光支援施設（道の駅）、飲食系の活用が想定されます。またオープンスペースを活用した、住民の健康増進や憩いの場となる広場も確保しつつ、避難場所としての機能の維持を図っていくことも考えられます。
- ・ 民間活力の導入が想定されます。

### (2)高根中学校跡地

- ・ 近隣のこま川団地との関係性を考慮し福祉や子育て支援施設、健康増進施設等の複合的な利用により、住民間の交流が図られる活用形態が想定されます。
- ・ ただし、近隣の住宅地からは高低差もあり利便性や安全性の面で課題があるといえます。
- ・ 民間への売却や貸付等も視野に入れた検討が必要と考えられます。

### (3)武蔵台中学校跡地

- ・ 土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域に含まれていることで、土地・建物の安全性が低い点に配慮が必要となります。
- ・ 健康増進を図るための広場などオープンスペースを主とした複合的な利用により、住民間の交流が図られる活用形態が想定されます。
- ・ 民間への売却も考えられますが、災害リスクが高い土地であり、買い手があるかは不透明な要素があるものと想定されます。